

2020 年 研究業績

[Researches and Social Works in 2020]

研究業績

■ 河田 恵 昭

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|------------|-------------------------------|---|
| (著書) 水害の大研究 | 単著 | 2020年7月10日 | PHP | 楽しい調べ学習シリーズ, 55pp. |
| (学術論文) 災害を「自分ごと」にする文化の振興こそ 変貌する災害列島と縮災④革新的防災事業 の推進策 | 単著 | 2020年1月1日 | 第三文明社 | 第三文明 No.761, pp.20-22 |
| 「共生」の心を育む防災教育の推進 | 単著 | 2020年1月1日 | ウォータアンドライ フ社 | Water & Life No.646, pp.26 |
| 環境と防災・減災④環境が変化すると新た な災害が発生する | 単著 | 2020年1月1日 | 兵庫県教育委員会 | 兵庫教育 No.827, pp.4-7 |
| 自治体防災の要諦 (22) 今すぐやるべき災 害対策 旧態依然の政治システムがネック | 単著 | 2020年1月1日 | 公益財団法人 環境 生活文化機構 | 季刊 エルコレダ (ELCO RADER) Vol.81, pp.8-10 |
| 自分や家族を守る問題として、防災を本気 で意識してほしい | 単著 | 2020年1月20日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.380, pp.48-49 |
| 大規模災害で停電が深刻化 東電の対策の 進捗度と限界 | 単著 | 2020年1月14日 | 日本経済新聞出版社 | 日経MOOK 気候変動と災害対策, pp.6 -9 |
| 東京の大水害と縮災 | 単著 | 2020年2月1日 | 東洋経済新報社 | 週刊 東洋経済第6902号, pp.46-47 |
| 変貌する災害列島と縮災④想定外の災害に 必要な避難のための新たな指標 | 単著 | 2020年2月1日 | 公益財団法人 後 藤・安田記念東京都 市研究所 | 都市問題 Vol.111, pp.37-42 |
| 自治体防災の要諦 (23) 都市化が進んだ日 本 治水で知っておくべき基本とは | 単著 | 2020年2月1日 | ウォータアンドライ フ社 | Water & Life No.647, pp.22 |
| 荒川氾濫で水没する東京 | 単著 | 2020年2月17日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.382, pp.38-39 |
| 変貌する災害列島と縮災④治水技術は何の ためにあるのか | 単著 | 2020年2月10日 | 中央公論新社 | 中央公論第134巻第3号, pp.38-47 |
| 南海トラフを中心とした巨大災害と危機管理 | 単著 | 2020年3月1日 | ウォータアンドライ フ社 | Water & Life No.648, pp.22 |
| 大震災からの復興と防災～阪神・淡路大震 災25年目の視座 | 単著 | 2020年2月29日 | 日本自治体危機管理 学会 | 自治体危機管理研究 Vol.23, pp.1-16 |
| 変貌する自然災害と縮災対策 | 単著 | 2020年3月1日 | ぎょうせい | ガバナンス No.227, pp.14-16 |
| 自治体防災の要諦 (24) 川の氾濫危険箇所 はどこか 無関心が被害の発生・拡大要因 | 単著 | 2020年3月1日 | 一般社団法人 ロー タリーの友事務所 | ロータリーの友 Vol.68 No.3, pp.74-77 |
| 危険な東京の過度の一極集中と都市計画に おける「防災の主流化」 | 単著 | 2020年3月16日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.384, pp.40-41 |
| 災害時に医療機関を機能させるためのBCP に関する実践的研究— 災害医療支援病院 におけるBCP策定手順— | 単著 | 2020年2月25日 | 政策研究センター | 日本の住宅・都市19', pp.12-19 |
| 巨大地震が来る前に、何をしておくべきか | 単著 | 2020年3月20日 | 安全医学会 | 安全医学第16巻第1号, pp.8-18 |
| 巻頭言 河田文庫の創設に感謝する | 単著 | 2020年3月25日 | 和歌山県地域・自治 体研究所 | わかやま住民と自治第317号, pp.1-5 |
| 変貌する災害列島と縮災④コロナウイルス 感染問題 民主主義の成熟度がわかる国家 の危機管理レベル | 単著 | 2020年3月30日 | 公益財団法人 兵庫 震災記念21世紀研究 機構 | 21世紀ひょうご第28号, pp.1-7 |
| 自治体防災の先端的実践論第1回 災害時 の首長のリーダーシップ 判断が甘いと失 敗する | 単著 | 2020年4月1日 | ウォータアンドライ フ社 | Water & Life No.649, pp.22 |
| パンデミックは都市災害だ 世界一危険な 東京を救え！～欧米の事例から日本の危機 管理を考える～ | 単著 | 2020年4月20日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.386, pp.40-41 |
| 首都圏内での水害リスク | 単著 | 2020年4月23日 | Yahoo | ヤフーニュース (中央公論電子版) |
| | 単著 | 2020年5月1日 | 一般社団法人 経済 調査会 | 積算資料, 特 pp.8-12 |

| | | | | |
|--|----|-------------|--------------------|---|
| 時流 コロナウイルスのパンデミックの教訓—いま、BCPを見直せば、まだ間に合う国難災害— | 単著 | 2020年5月1日 | 野村資本市場研究所 | 野村資本市場 Vol.23-4, pp.3-4 |
| 南海トラフ巨大地震時の危機管理上の諸問題 | 単著 | 2020年 | 日本臨床医学リスクマネジメント学会 | 安全医学第16巻第2号, pp.25-33 |
| 災害文化論(1) 災害文化を豊かにする | 単著 | 2020年5月1日 | 日本消防設備安全センター | 月刊フェスク, pp.2-9 |
| 自治体防災の先端的実践論第2回 予測不可能な災害時の問題—十勝沖地震の教訓生かせ | 単著 | 2020年5月18日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.388, pp.36-37 |
| なぜ気づかないのか? パンデミックは都市災害だ | 単著 | 2020年6月1日 | NIRA 総合研究開発機構 | ポスト COVID-19の防災 https://www.nira.or.jp/omnibus9/index.html#1700 |
| 自治体防災の先端的実践論第3回 想定外の災害や事故と向き合う—危険の存在を無視すると被害拡大 | 単著 | 2020年6月15日 | 日本経済新聞 | 日経グローバル No.390, pp.40-41 |
| 変貌する災害列島と縮災⑩災害に備えた水と食料と「知」の備蓄は予防力になる | 単著 | 2020年6月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.650, pp.22 |
| 災害文化論(2) 災害文化を新たに創る | 単著 | 2020年6月25日 | 日本消防設備安全センター | 月刊フェスク, pp.2-9 |
| 変貌する災害列島と縮災 コロナウイルスによる感染症拡大を抑制する—わが国が誇るべき水道水の文化— | 単著 | 2020年7月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.651, pp.22 |
| 「日本水没」が起こる日—殺人級大雨と巨大複合災害 | 単著 | 2020年7月15日 | 一般社団法人市民セクター政策機構 | 季刊 社会運動 No.439, pp.24-34 |
| 自治体防災の先端的実践論第4回 市町村レベルで実践すべき新型コロナの第2波対策 | 単著 | 2020年7月20日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.392, pp.40-41 |
| 変貌する災害列島と縮災 No52多様な内容の防災教育が災害文化の形成につながる | 単著 | 2020年8月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.652, pp.22 |
| 自治体防災の先端的実践論第5回 水害対策に必要な公助頼み脱却—文化的対策を文明的対策の上位に | 単著 | 2020年8月17日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.394, pp.40-41 |
| 私たちは都市災害を攻略できるのか | 単著 | 2020年8月1日 | 日本建築協会 | 建築と社会 Vol.101, No.1181, pp.27-31 |
| 土砂災害の「前兆」現象 | 単著 | 2020年8月10日 | 朝日新聞出版 | アエラ第33巻第36号, pp.70-71 |
| 新型コロナウイルス・パンデミックは都市災害 | 単著 | 2020年7月27日 | ひょうご震災記念21世紀研究機構 | 研究レター Hemi21オピニオン Vol.60, pp.2 |
| 大阪市を壊滅させる未熟な大阪都構想案 | 単著 | 2020年7月31日 | 大阪市政調査会 | 市政研究第208号, pp.18-38 |
| 変貌する災害列島と縮災 No53新型コロナウイルス感染症の第2,3波に備えた文化的対策の勧め | 単著 | 2020年9月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.653, pp.22 |
| 異常気象新時代—日本中に水害リスク | 単著 | 2020年9月1日 | 全国保険医団体連合会 | 月刊保団連 No.1329, pp.4-9 |
| 自治体防災の先端的実践論第6回 想定外の水害に備えるため治水の災害文化を創ろう | 単著 | 2020年9月21日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.396, pp.38-39 |
| 変貌する災害列島と縮災 No54新型コロナウイルス感染症の第2,3波に備えた文明的対策の勧め | 単著 | 2020年10月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.654, pp.22 |
| 自治体防災の先端的実践論第7回 自治体は防災行政の縦割りと前例主義を打破できるのか | 単著 | 2020年10月19日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.398, pp.38-39 |
| 変貌する災害列島と縮災 No55新型コロナウイルス感染症の再拡大に備える | 単著 | 2020年11月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.655, pp.22 |
| 自治体防災の先端的実践論第8回 頻発する豪雨災害の原因は「相転移」が起こっているため | 単著 | 2020年11月16日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.400, pp.50-51 |
| 巻頭言 豪雨災害の「相転移」の発生とその解決策「縮災」 | 単著 | 2020年11月20日 | 一般社団法人全国地質調査業協会連合会 | 地質と調査 Vol.156, pp.1-6 |
| 変貌する災害列島と縮災 No56間違った「自己責任の原則」と民主主義の退化 | 単著 | 2020年12月1日 | ウォーターアンドライフ社 | Water & Life No.656, pp.22 |

研 究 業 績

| | | | | |
|---|---------|-------------|---|---|
| The determinations of residents' evacuation behavior in the torrential rain in western Japan in 2018: Examination of survey data of victims in Okayama prefecture | 共著 | 2020年12月1日 | Fuji Technology Press | Journal of Disaster Research Vol.15, No.7, pp1-14, Ohtomo S, R. Kimura, Y. Kawata and K. Tamura |
| 自治体防災の先端的実践論第9回 災害や感染症にはトランス・サイエンスとして対処 | 単著 | 2020年12月21日 | 日本経済新聞社 | 日経グローバル No.402, pp.38-39 |
| 首都の水害対策 | 単著 | 2020年12月20日 | 建設工業調査会 | ベース設計 No.187, pp.59-61 |
| (その他、論考・研究資料等) (新聞等) | 新聞社 | 掲載日 | ウェブ掲載 URL | |
| 予測できない災害に備え住まいと地域の減災力を高める | 朝日新聞社 | 2020年1月1日 | | |
| ぼうさい甲子園創設15年 | 毎日新聞社 | 2020年1月15日 | | |
| 1.17たどる117人の品々 阪神大震災25年 | 日本経済新聞社 | 2020年1月16日 | | |
| 損失最小化へ「縮災」不可欠 | 日本経済新聞社 | 2020年1月16日 | | |
| 企業・自治体のための気候変動と災害対策 | 日本経済新聞社 | 2020年1月17日 | | |
| 産業春秋 | 日刊工業新聞社 | 2020年1月17日 | | |
| 災害、世代や地域を超え継承 24～26日、神戸でフォーラム | 神戸新聞社 | 2020年1月20日 | | |
| 防災教育 震災25年の成果共有 | 神戸新聞社 | 2020年1月22日 | | |
| 世界語り継ぎフォーラム 神戸で開幕 | 神戸新聞社 | 2020年1月25日 | | |
| ぼうさい甲子園発表会 1/2 | 毎日新聞社 | 2020年1月28日 | | |
| ぼうさい甲子園発表会 2/2 | 毎日新聞社 | 2020年1月28日 | | |
| 国際防災・人道支援フォーラム2020 | 朝日新聞社 | 2020年1月30日 | | |
| 災害語り部 神戸で議論 | 神戸新聞社 | 2020年2月4日 | | |
| 論壇誌 2月 | 読売新聞社 | 2020年3月28日 | | |
| 被災地の「遺伝子」を継ぐ 災間を生きる | 神戸新聞社 | 2020年3月28日 | | |
| コロナ対応防止の視点で | 神戸新聞社 | 2020年5月18日 | | |
| パンデミックは都市災害だ 世界一危険な東京を救え！～欧米の事例から日本の危機管理を考える～ | 中央公論電子版 | 2020年7月8日 | https://chuokoron.jp/international/114395.html | |
| 「防災省」創設 議論進まず | 北海道新聞社 | 2020年8月14日 | | |
| 災害から企業を守るCRE戦略～不動産は人と企業を守り抜けるか～ | 日本経済新聞社 | 2020年8月20日 | | |
| 地震後台風浸水2倍に | 読売新聞社 | 2020年9月3日 | | |
| 危機管理 在職中の大災害想定を | 神戸新聞社 | 2020年9月24日 | | |
| 都構想 論戦が活発化 | 毎日新聞社 | 2020年10月5日 | | |
| 被災格差生む区割り | 毎日新聞社 | 2020年10月17日 | | |
| 企業防災戦略・戦術論 | 日本経済新聞社 | 2020年10月21日 | | |
| 素早い災害対応維持 (大阪都構想関連) | 神戸新聞社 | 2020年11月2日 | | |
| 東京県人会200人交流 河田氏講演 | 神戸新聞社 | 2020年11月17日 | | |
| 国難を迎え撃つために：一刻も早い防災省創設が必要 | 日本ドットコム | 2020年12月7日 | nippon.com, https://www.nippon.com/ja/in-depth/d00657/# | |
| 幸せランチ | 読売新聞社 | 2020年12月9日 | | |
| 知事選へ各党始動県内驚きやねざらい | 読売新聞社 | 2020年12月12日 | | |
| (テレビ・ラジオ出演) 番組タイトル | | 放送日 | 放送局 | 番組名 |
| 『震災から9年・・・教訓は生かされるのか？巨大津波&感染症対策』 | | 2020年3月11日 | 日本テレビ | 深層ニュース |

社会安全学研究 第11巻

| 「闘論！ 倒論！ 討論！ 2020 日本よ、今…」 | | 2020年10月13日 | 日本文化チャンネル 桜 | 「大阪都構想の本質を考える」 |
|-------------------------------------|-------|-------------|--------------------------|---|
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 国難となる巨大災害の事前対策 | 単独 | 2020年3月18日 | 日本学術会議 | 第9回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」(東京都港区日本学術会議講堂・インターネット配信) |
| (招待講演) 治水文化を創る | 単独 | 2020年1月10日 | 近畿建設協会 | シンポジウム水防災意識の社会を目指して(大阪府大阪市, 国民会館12階大ホール) |
| これからの防災～災害文化と縮災～ | 単独 | 2020年1月16日 | 神戸ロータリクラブ | 神戸ロータリクラブ講話(兵庫県神戸市, 神戸ポートピアホテル) |
| 災害から命をまもる～西日本豪雨と台風19号の教訓～ | 単独 | 2020年1月16日 | JSA 中核会岡山支部・損保ジャパン日本興亜 | 防災講演会(岡山県岡山市, ホテルメルパルク OKAYAMA) |
| 1995年阪神・淡路大震災が防災研究にもたらしたもの | 単独 | 2020年1月17日 | 災害対応研究会 | ジョイントセミナー減災(兵庫県神戸市, 神戸国際会館9階大ホール) |
| 阪神・淡路大震災の教訓から生まれた国連の持続可能な開発目標(SDGs) | 単独 | 2020年1月17日 | 神戸市 | 神戸防災のつどい2020(兵庫県神戸市, 神戸国際会館こくさいホール) |
| 「津波のしくみと被害」「行政の災害対応」 | 単独 | 2020年1月18日 | NTTラーニングシステムズ(株) | 防災士育成研修(大阪府泉佐野市, エブノ泉の森ホール) |
| 学校教育が創る災害文化 | 単独 | 2020年1月21日 | 兵庫県教育委員会 | 阪神・淡路大震災25年防災教育フォーラム(兵庫県神戸市, 神戸文化ホール) |
| 「都市災害」「災害と危機管理」 | 単独 | 2020年1月23日 | NTTラーニングシステムズ(株) | 防災士育成研修(広島県広島市, ドコモ広島大手町ビル) |
| 風水害から命を守る～西日本豪雨と台風19号の教訓～ | 単独 | 2020年1月27日 | JAPIC | 防災委員会(東京都中央区, 鉄鋼会館) |
| 地球温暖化によって激化する風水害対策 | 単独 | 2020年1月29日 | さいたま市 | さいたま市地域防災力向上セミナー(埼玉県さいたま市, 市民会館大宮) |
| 地球温暖化の下での大都市の風水害対策 | 単独 | 2020年1月30日 | 日本ガス協会・東邦ガス(株) | 第33回大都市研究会(愛知県名古屋市, KKR ホテル名古屋) |
| 震災の教訓は災害文化を創る | 単独 | 2020年2月3日 | | 阪神・淡路大震災を伝える語り部フォーラム(兵庫県神戸市, 兵庫県公館) |
| 災害情報と災害文化 | 単独 | 2020年2月5日 | 総務省中国総合通信局 | 災害情報伝達に関するセミナー(鳥取県米子市, 国際ファミリープラザ) |
| 滋賀県内の市町による災害対策と課題 | 単独 | 2020年2月6日 | 滋賀県 | 令和元年度地方公共団体における災害対策に関する講演会(滋賀県大津市, 滋賀県危機管理センター) |
| 東京を襲う国難災害～直下地震と風水害の連続災害～ | 単独 | 2020年2月7日 | 震災対策技術展事務局 | 震災対策技術展横浜(神奈川県横浜市, パシフィコ横浜) |
| 国難に備える(2)～防災省(庁)創設の提案～ | 単独 | 2020年2月7日 | 関西広域連合 | 震災対策技術展横浜(神奈川県横浜市, パシフィコ横浜) |
| 「都市防災」「津波災害・高潮災害」 | 単独 | 2020年2月8日 | 防災研修センター | 防災士研修講座(大阪府堺市, 南区役所) |
| 大規模災害時の首長の対応のあり方 | 単独 | 2020年2月10日 | 愛知県 | 令和元年度愛知県市町村長防災危機ラボ(愛知県名古屋市, 名古屋銀行協会5階ホール) |
| 日常生活を安全に過ごすために大阪で予想される災害を知る | 単独 | 2020年2月11日 | (株)大京アステージ | なかもずオールズ防災セミナー(大阪府堺市, 堺商工会議所) |
| 平成30年連続災害を学ぶ | 単独 | 2020年2月12日 | 岡山県 | 岡山県防災会議(岡山県岡山市, ホテルメルパルク岡山) |
| 「都市防災」「災害と危機管理」 | 単独 | 2020年2月13日 | NTTラーニングシステムズ(株) | 防災士育成研修(大阪府大阪市, 梅田DTタワー) |
| 防災省(庁)創設の提案 | 単独 | 2020年2月14日 | 関西広域連合 | 関西災害時物資供給協議会総会(兵庫県神戸市, 人と防災未来センター) |
| 巨大地震がらく前に何をしておくべきか | 単独 | 2020年2月16日 | 「防災と復興のまちづくりを考える集い」実行委員会 | 基調講演(和歌山県田辺市, 田辺市紀南文化会館) |

研 究 業 績

| | | | | |
|--|----|------------|------------------|--|
| 災害から命を守る～相次ぐ地震、豪雨、土砂災害、将来の大災害に備える～ | 単独 | 2020年2月17日 | 内外ニュース | 内外ニュースいい懇談会2月例会（福岡県福岡市、西鉄グランドホテル） |
| 東京の防災・減災・縮災対策について | 単独 | 2020年2月21日 | 東京商工会議所 | 災害対策委員会（東京都中央区、東京商工会議所） |
| 危機管理総論 | 単独 | 2020年2月23日 | 日本危機管理士機構 | 危機管理士2級講義（東京都千代田区、明治大学駿河台キャンパス） |
| 国難となる巨大災害への事前対策 | 単独 | 2020年3月18日 | 自由民主党 | 自民党行政改革推進本部「防災体制見直しチーム」（東京都千代田区、自由民主党本部） |
| 災害時にトップはどう動く～コロナ禍で求められる判断～ | 単独 | 2020年6月23日 | 岐阜県 | 危機管理対応研修「トップフォーラム」（岐阜県岐阜市、岐阜県庁） |
| 超想定外のパンデミックの経験をこれからの災害対策に生かす | 単独 | 2020年7月10日 | 近畿地方整備局 | 近畿地方整備局防災シンポジウム『新型コロナウイルス感染蔓延下の災害対応について』（大阪市中央区、ドーンセンター） |
| 災害時に自治体はどう動く～コロナ禍で求められる判断から | 単独 | 2020年7月15日 | 滋賀県 | 滋賀県知事意見交換会・幹部職員講演会（滋賀県大津市、滋賀県危機管理センター） |
| 都市災害としてのパンデミックの攻略方法～欧米の事例から日本の危機管理を考える～ | 単独 | 2020年8月7日 | 内外ニュース | 内外ニュース富山懇談会（富山県富山市、富山電気ビル） |
| 多発する災害の教訓～7月豪雨と熊本地震、西日本豪雨、台風、コロナパンデミック～ | 単独 | 2020年8月19日 | 共同通信社 | 共同通信社 岐阜新聞・岐阜放送懇談会（岐阜県岐阜市、岐阜グランドホテル） |
| 新型コロナウイルス感染症対策 と縮災 | 単独 | 2020年8月20日 | 防災ログ運営事務局 | 防災減災セミナー（東京都大田区、大田区産業プラザPiO、収録講演） |
| 危機管理総論 | 単独 | 2020年8月22日 | 日本危機管理士機構 | 危機管理士2級講義（東京都千代田区、明治大学駿河台キャンパス） |
| 東日本大震災の教訓と縮災～復興庁が実施した500以上の復興事業の評価を通して～ | 単独 | 2020年8月28日 | 岡山経済同友会 | 岡山経済同友会（岡山県岡山市、岡山プラザホテル） |
| 企業は新型コロナウイルスパンデミックの第二・三波の到来の備えて、企業は何をすべきか？ | 単独 | 2020年9月1日 | BERC | BERC シンポジウム（オンライン） |
| 「都市災害としてのパンデミックの攻略方法」～欧米の事例から日本の危機管理を考える～ | 単独 | 2020年9月2日 | 内外ニュース | 内外ニュース金沢懇談会（石川県金沢市、金沢東急ホテル） |
| 「自主防災活動と地区防災計画」「企業・団体の事業継続」 | 単独 | 2020年9月5日 | 防災士研修センター | 防災士研修大阪9月（大阪府大阪市、シキボウホール） |
| 都市災害は進化する～新型コロナウイルス対応を防災の視点で | 単独 | 2020年9月5日 | 健康まちづくり推進協会 | 防災市民サミット（兵庫県神戸市、神戸市勤労会館） |
| 首都圏、千代田区を中心とした23区の水害、首都直下地震が与える影響について | 単独 | 2020年9月9日 | 内外情勢調査会 | 時事通信社 ENEOS ホールディングス向け知識普及セミナー（東京都千代田区、ENEOS 本社、オンライン） |
| 「行政の災害対策と危機管理」「自主防災活動と地区防災計画」 | 単独 | 2020年9月11日 | NTTラーニングシステムズ（株） | 防災士育成研修大阪第1回（大阪府大阪市、TKP ガーデンシティPREMIUM大阪駅前） |
| 防災総論Ⅰ・Ⅱ | 単独 | 2020年9月12日 | 福岡市 | 博多あん・あん塾（福岡県福岡市、健康づくりサポートセンター） |
| 企業防災戦略・戦術論 ～様々な都市災害から企業を守るために必要な事～ | 単独 | 2020年9月14日 | 日本経済新聞社 | 日本土地建物 戦略セミナー（東京都千代田区 イイノホール、収録講演） |
| 最近の水害と新型コロナウイルス感染症対策 | 単独 | 2020年9月17日 | 内外情勢調査会 | 倉敷支部講演会（岡山県倉敷市、倉敷国際ホテル） |
| 中小企業のBCP（事業継続計画） | 単独 | 2020年9月24日 | NTTドコモ | 中小企業法人向け新規顧客開発セミナー（大阪市都島区、NTT西日本研修センター、オンライン） |
| 国家防災政策論 | 単独 | 2020年9月26日 | 国際都市研究学院 | 国際都市研究学院講義（東京都港区、政策研究大学院大学） |
| 国難災害にそなえる～COVID-19でわかったこと～ | 単独 | 2020年9月28日 | 国難災害対応研究会 | 第4回国難災害対応マネジメント研究会（オンライン） |

| | | | | |
|--|----|----------------|--------------------|--|
| 大阪都構想の未熟な案！ | 単独 | 2020年10月4日 | 豊かな大阪をつくる 学者の会 | 大阪都構想の危険性シンポジウム（大阪府大阪市、ターネンビル） |
| 災害多発・激化時代に必要な災害文化を再構築する | 単独 | 2020年10月14日 | 震災対策技術展大阪事務局 | 震災対策技術展大阪（大阪市北区グランフロント大阪コングレコンベンションセンター） |
| 津波・高潮 | 単独 | 2020年10月14日 | LSO | 震災対策技術展大阪（大阪市北区グランフロント大阪コングレコンベンションセンター） |
| 国難となる巨大災害の被害軽減策 | 単独 | 2020年10月15日 | 震災対策技術展大阪事務局 | 震災対策技術展大阪（大阪市北区グランフロント大阪コングレコンベンションセンター） |
| 国家防災政策論 | 単独 | 2020年10月17日 | 国際都市研究学院 | 国際都市研究学院講義（東京都港区政策研究大学院大学） |
| 国難（パンデミック含む）と地域の災害に備える | 単独 | 2020年10月18日 | 兵庫県広域防災センター | 防災リーダー講座開講式（兵庫県三木市兵庫県広域防災センター） |
| 国家防災政策論 | 単独 | 2020年10月28日 | 国際都市研究学院 | 国際都市研究学院講義（東京都港区政策研究大学院大学） |
| 激化する風水害から命を守る～新型コロナウイルス感染症拡大を教訓として～ | 単独 | 2020年10月29日 | 防犯・防災総合展事務局 | 防犯・防災総合展（大阪市港区南港インテックス大阪） |
| 国難災害に備える～防災省（庁）創設の提案～ | 単独 | 2020年10月30日 | 関西広域連合 | 防犯・防災総合展（大阪市港区南港インテックス大阪） |
| 「地震・津波による災害」「行政の災害対策と危機管理」 | 単独 | 2020年11月5日 | NTTラーニングシステムズ（株） | NTTドコモ東海防災士育成研修（愛知県名古屋市アーバンネット名古屋ビル） |
| 「自主防災活動と地区防災計画」「企業・団体の事業継続」 | 単独 | 2020年11月6日 | 防災士研修センター | 防災士研修大阪11月（大阪府大阪市シキボウホール） |
| 定時制高校の防災・減災・縮災 | 単独 | 2020年11月9日 | 兵庫県高等学校定時制通信制教育協議会 | 兵庫県高等学校定時制通信制教育協議会（兵庫県西宮市兵庫県立西宮香風高等学校） |
| 中小企業のBCP（事業継続計画） | 単独 | 2020年11月12日 | NTTドコモ | 中小企業法人向け新規顧客開発セミナー（大阪市都島区NTT西日本研修センター、オンライン） |
| 都市災害であるCOVID-19の教訓を縮災に活かす | 単独 | 2020年11月13日 | 大阪府建築士会 | 大阪府建築士会講習会（大阪府大阪市建築健康会館） |
| 国難・首都直下地震対策の新たな提案～新型コロナウイルス感染症拡大のアナロジー的解析～ | 単独 | 2020年11月16日 | 兵庫県 | 東京兵庫県人会総会（東京都品川区、品川プリンスホテルアネックスタワー） |
| 首都直下地震などの巨大地震の減災・縮災の課題と対策 | 単独 | 2020年11月17日 | 電気通信協会 | 情報通信産業フォーラム（オンライン） |
| 「地震・津波による災害」「自主防災活動と地区防災計画」 | 単独 | 2020年11月19日 | NTTラーニングシステムズ（株） | 防災士育成研修（大阪府泉佐野市エブノ泉の森ホール） |
| 新型コロナウイルス感染症対策 | 単独 | 2020年11月30日 | JAPIC | 防災委員会（東京都中央区鉄鋼会館） |
| コロナ・パンデミックは都市災害だ～感染症の専門家だけでは制御不可能～ | 単独 | 2020年12月1日～31日 | 日本救急看護学会 | 第22回日本救急看護学会学術集会（収録講演） |
| 中小企業のBCP（事業継続計画） | 単独 | 2020年12月3日 | NTTドコモ | 中小企業法人向け新規顧客開発セミナー（大阪市都島区NTT西日本研修センター、オンライン） |
| コロナ禍を踏まえた大規模災害対応 | 単独 | 2020年12月8日 | 神戸経済同友会 | 神戸経済同友会環境インフラ整備委員会（兵庫県神戸市ポートピアホテル） |
| 「都市防災」「災害と危機管理」 | 単独 | 2020年12月11日 | NTTラーニングシステムズ（株） | 防災士育成研修（大阪府大阪市梅田DTタワー） |
| ミナミの安全・安心を守るために必要なこと | 単独 | 2020年12月15日 | 産経新聞社 | 産経×松竹ミナミ防災フォーラム（大阪府大阪市松竹座） |
| 「自主防災活動と地区防災計画」「企業・団体の事業継続」 | 単独 | 2020年12月19日 | 防災士研修センター | 防災士研修大阪12月（大阪府大阪市シキボウホール） |
| 「地震・洪水・土砂災害の縮災①事前対策～地震・津波による災害～」「地震・洪水・土砂災害の縮災②事後対策～地震・津波による災害～」 | 単独 | 2020年12月20日 | 奈良県 | 奈良県自主防犯・防災リーダー研修（奈良県橿原市奈良県社会福祉総合センター） |

研 究 業 績

| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
|---|---------------|--------------------------|--------------------------------|---|
| (競争的資金) 防災科学技術研究所・首都圏を中心とした レジリエンス総合力向上プロジェクト | 分担 | 2017～2021 +C102: C182 | 5,610 (25,000) | 首都圏を中心としたレジリエンス総合力 向上に資するデータ利活用に向けた連携 体制の構築 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本災害情報学会(元会長)理事, 名誉会員 | | | | |
| 日本自然災害学会(元会長)理事, 評議員 | | | | |
| 土木学会名誉会員・フェロー | | | | |
| 日本地震工学会 | | | | |
| 日本自治体危機管理学会 | | | | |
| 日本災害復興学会 | | | | |
| 地域安全学会 | | | | |
| アメリカ土木学会(ASCE)会員, アメリカ地球物理学連合(AGU), 国際水理学会(IAHR)会員 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 土木学会, 調査研究部門/原子力土木委員会/J232津波評価部会(fII)委員 | | | | |
| 土木学会, 調査研究部門/構造工学委員会/鉄道工学連絡小委員会/委員 | | | | |
| 土木学会, 企画部門/論説委員会委員 | | | | |
| 土木学会, レジリエンスの確保に関する技術検討委員会 委員 | | | | |
| 日本自然災害学会, 評議員 | | | | |
| 日本地震学会, 国際測地学協会及び地震学・地球内部物理学協会合同総会開催にかかる組織委員会委員 | | | | |
| 内閣府, 中央防災会議専門委員 | | | | |
| 内閣府, 中央防災会議防災対策実行会議委員 | | | | |
| 内閣府, 南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応に係るアドバイザー | | | | |
| 内閣府, 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ 主査 | | | | |
| 大阪府, 大阪府防災会議委員 | | | | |
| 大阪府, 南海トラフ地震対応強化策検討委員会 委員長 | | | | |
| 大阪市, 大阪港地震・津波対策連絡会議, オブザーバー | | | | |
| 堺市, 堺市防災会議委員 | | | | |
| 守口市, 総合基本計画策定委員会 環境・安全安心部会アドバイザー | | | | |
| 兵庫県, ひょうご安全の日推進県民会議, 企画委員長 | | | | |
| 兵庫県, 兵庫県防災会議委員 | | | | |
| 三重県, 防災会議専門部会「防災・減災対策検討会議」委員 | | | | |
| 三重県, 政策アドバイザー | | | | |
| 奈良県, 地域防災計画検討委員会 委員 | | | | |
| 新潟県, 防災立県推進戦略顧問 | | | | |
| 岡山県, 平成30年7月豪雨災害検証委員会 委員長 | | | | |
| 岡山県, 防災アドバイザー | | | | |
| 高知県, 石油基地等地震・津波対策検討委員会 委員 | | | | |
| 高知県, 南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー | | | | |
| 関西広域連合, 関西広域防災計画策定委員会 委員長 | | | | |
| 関西広域連合, 広域計画等推進委員会 委員 | | | | |
| 関西広域連合, 我が国の防災・減災体制のあり方に関する懇話会 座長 | | | | |
| 鳥取県, 鳥取県政アドバイザースタッフ | | | | |
| 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 経営諮問会議 委員長 | | | | |
| 東北大学, 災害科学国際研究所共同利用・共同研究運営委員会 委員 | | | | |
| 全国知事会地方自治先進政策センター, 頭脳センター専門委員 | | | | |
| (財)防災研究協会, 業務運営委員 | | | | |
| (社)日本プロジェクト産業協議会, 日本創成委員会/特別委員会(緊急タスクフォース), 副委員長 | | | | |
| (公益)ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 | | | | |

復興庁委託事業「東日本大震災復興の事例収集・調査分析事業」に係る有識者会議委員
人と防災未来センター展示改修検討委員会委員長
(公益) 関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団選考委員
(公財) 兵庫県住宅再建共済基金運営協議会委員
濱口梧陵国際賞(国土交通大臣賞) 選考委員会委員長
東日本大震災被災者の生活復興プロジェクト・生活復興委員会及びワーキングチーム座長
世界発信コンペティションサービス部門審査会委員
(その他業績として記載を希望する事項)
兵庫県立大学特任教授 (2017年～現在)
人と防災未来センター センター長 (2002年～現在)
特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 理事長
特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 理事長
特定非営利活動法人 人・家・街 安全支援機構 理事長

研究業績

■ 安部 誠治

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|------------|------------------|---|
| (論文) 信楽高原鉄道事故の教訓と鉄道の安全 | 共著 | 2020年3月 | 関西大学社会安全研究センター | 『社会安全学研究』Vol.10、査読有、江木謙太・安部誠治、53-68頁。 |
| (その他、論考・研究資料等) タクシー運転者が直面する需要減と競争激化 | 単著 | 2020年4月 | 週刊金曜日 | 『週刊金曜日』第1275号、32-33頁。 |
| 公共交通事故の被害者・遺族支援のあり方に関する考察 | 共著 | 2020年4月 | 大阪公共交通研究所 | 『都市と公共交通』No.44、石川慶祐・安部誠治、32-43頁。 |
| 自然災害等のリスクに備える —大学の組織的対応と留意点— | 単著 | 2020年5月 | 京滋地区私立大学学長懇談会 | 『二〇一九年度 京滋地区私立大学学長懇談会報告集』第42集、19-39頁。 |
| 対策本部の活動を振り返って | 単著 | 2020年9月 | 関西大学 | 『Reed』No.62、2頁。 |
| 交運研の30年を祝す | 単著 | 2020年11月 | 交通運輸政策研究会 | 『30年のあゆみ』4頁。 |
| シンポジウム記録「交運研30年のあゆみと今後の課題を学ぶ」 | 単著 | 2020年11月 | 交通運輸政策研究会 | 同上、6-10頁。 |
| (委託研究) 混在交通下の事業用自動車運転者を取り巻く環境シナリオ等に関する研究（独立行政法人・自動車事故対策機構） | 研究代表 | 2020年6月～ | | |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (講演) 幼稚園における危機管理と危機対応 | 単独 | 2020年8月28日 | 茨木市役所 | 於・茨木市役所 |
| 自動運転技術はどこまで来ているか —今後の普及の見通しと安全上の課題— | 単独 | 2020年10月8日 | 陸運新報社「なにわ経営セミナー」 | 於・アークホテル大阪心斎橋 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 公益事業学会（理事）、日本交通学会、交通権学会、日本リスクマネジメント学会、鉄道史学会、日本安全学教育研究会 (社会貢献活動) 仙台市タクシー特定地域協議会会長（継続） 原子力安全推進協会・原子力防災訓練検討委員会委員（2020年3月まで） 事業用自動車事故調査委員会委員（継続） トラック輸送における取引環境・労働時間改善大阪府地方協議会会長（継続） 国土交通省・軽井沢スキーバス事故フォローアップ会議委員（継続） 自動車事故対策機構指導講習業務検討委員会委員（継続） 関西大学評議員（新規） 国土交通省・交通政策審議会臨時委員（新規） | | | | |

■ 一 井 康 二

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|------------|------------|---|--|
| (学術論文) A simplified method to consider the pile of insufficient length to obtain the support from bearing stratum | 共著 | 2020年6月30日 | Taylor & Francis | Journal of Asian Architecture and Building Engineering, Volume 19, 2020 - Issue 6, Junichi Hyodo, Yukio Tamari, Akito Sone, Osamu Ozutsumi & Koji Ichii, https://doi.org/10.1080/13467581.2020.1764847 (査読有) |
| 2018年大阪北部地震におけるブルーシート屋根補修方法の実態調査 | 共著 | 2020年9月8日 | 公益社団法人土木学会 | 土木学会論文集A1 (構造・地震工学), 一井康二, 牧建介, 2020年76巻4号 pL709-L715. (査読有) |
| 地盤液化後の再堆積過程における地下水流れの影響 | 共著 | 2020年9月8日 | 公益社団法人土木学会 | 土木学会論文集A1 (構造・地震工学), 一井康二, 木戸口拓海, 2020年76巻4号 pL787-L792. (査読有) |
| Protection of Earthquake Damaged "Japanese" Roofs by Blue Tarps (Sheets) ~A Case Study on Setting Conditions~ | 共著 | 2020年9月 | 17WCEE | Proceedings of 17th World Conference on Earthquake Engineering, (17WCEE), K. Ichii, K. Maki, and T. Kanashima |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 耐震性能評価のための動的解析の妥当性確認~ASME V&V10.1の指標による検討事例~ | 単独 | 2020年10月1日 | 公益社団法人土木学会地震工学委員会 | 第40回地震工学研究発表会, Zoom会議室 |
| A Case Study: Velocity Of Liquefaction-Induced Landslide In Jono-Oge Triggered By 7.5 Mw Palu Earthquake | 共同 | 2020年10月1日 | 公益社団法人土木学会地震工学委員会 | 第40回地震工学研究発表会, Zoom会議室 (Karina Aprilia Sujatmiko, Koji Ichii) |
| (招待講演) Assessment of the seismic behavior of various structures from the geotechnical point of view | 単独 | 2020年9月10日 | Technological University Sagaing, Myanmar | オンラインセミナー |
| ライフライン施設の維持管理への画像解析の適用の試み | 単独 | 2020年9月29日 | 関西ライフライン研究会 | 関西ライフライン研究会第126回定例研究会, オンライン開催 (Microsoft teams) |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額) (単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 関西大学拠点形成支援経費 | 代表 | 2019~2020 | 3,309 (7,700) | 大規模地震発生時の燃料供給ネットワーク構築に関する研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 土木学会 地盤工学会 日本地震工学会 日本地すべり学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 和歌山県石油コンビナート等防災本部専門員 大阪市港湾審議会委員 一般社団法人FLIPコンソーシアム, 理事および特別顧問 中部電力株式会社原子力安全技術研究所, アドバイザリ・コミッティ委員 土木学会地震工学委員会, 委員兼幹事 土木学会地震工学委員会, 耐震性能評価のための地盤調査・土質試験の運用方法検討小委員会, 委員長 関西ライフライン研究会, 座長 一般財団法人沿岸技術研究センター, 令和2年度海洋・港湾構造物維持管理資格制度, 講習・研修小委員会, 委員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 豊中市立新田小学校出前授業「じしん計と防災~いきのこるための備えと学び~」2020年1月14, 16日 関西大学中等部出前授業「地震と液化化の特別講義」2020年11月6, 9, 16日 | | | | |

研究業績

■ 亀井克之

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|--|----------------------|--|
| (著書) 第2版 生活リスクマネジメントのデザイン 続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた | 単著 共著 | 2020年10月 2020年3月 | 法律文化社 関西大学出版部 | 154p 関西大学経済・政治研究所スポーツ・健康と地域社会研究班（亀井克之、杉本厚夫、西山哲郎、増田明美、吉田香織、尾久裕紀）、110p。 第2章「ベルリンマラソンのマジック」（pp.13-17）；第4章「市民マラソンによる自己変革と組織変革」（杉本厚夫、増田明美との共著、pp.35-42）；第6章「老舗・ファミリービジネスにおける健康経営」（尾久裕紀との共著、pp.87-93）；コラム「市民マラソンと人」（pp.31-33、pp.83-85他）を担当 |
| (分担執筆) Cas Oikawa Denim, Une entreprise japonaise reprise par l' épouse du fondateur | 共著 | 2020年6月 | éditions ems | Katsuyuki Kamei et Bérangère Deschamps, Audrey Missonier et Catherine Thévenard-Puthod (sous la direction de), <i>Transmission-reprise d'entreprise 11 études de cas</i> , pp.184-195. |
| リスクマネジメントの基本 | 単著 | 2020年2月 | 経済法令研究会 | 『銀行業務検定試験公式テキスト 金融リスクマネジメント 2級 20年6月受験用』, 第1編, pp.1-42 |
| (学術論文・海外ジャーナル) Attention-Deficit Hyperactivity Disorder Symptoms and Entrepreneurial Orientation: A Replication Note | 共著 | 2020年2月 (online first) 6月 (journal) | Wiley | Annelot Wismans, Roy Thurik, Ingrid Verheul, Olivier Torrès and Katsuyuki Kamei, <i>Applied Psychology</i> , Volume 69, Issue3, pp.1093-1112, July 2020. Published on line on February 25 2020. DOI: https://doi.org/10.1111/apps.12247 (査読有) |
| The link between attention-deficit hyperactivity disorder symptoms and entrepreneurial orientation in Japanese business owners | 共著 | 2020年10月 (online first) | Springer | Annelot Wismans, Katsuyuki Kamei, Roy Thurik & Olivier Torrès, <i>Management Review Quarterly</i> , 1-16. Published on line on October 29 2020. DOI: https://doi.org/10.1007/s11301-020-00202-9 (査読有) |
| Narcissism and entrepreneurship: Evidence from six datasets | 共著 | 2020年12月 (online first) | Elsevier | Yik Kiu Leung, Ingmar Franken, Roy Thurik, Martijn Driessen, Katsuyuki Kamei, Olivier Torrès and Ingrid Verheul, <i>Journal of Business Venturing Insights</i> , Volume 15, June 2021, e00216, 1-9. Published on line on December 2020. DOI: https://doi.org/10.1016/j.jbvi.2020.e00216 (査読有) |
| (学術論文・国内学術誌他) 中小企業経営者における職業性ストレスの実態解明（第1報） | 共著 | 2020年2月 | 桃山学院教育大学 | 栗岡住子、亀井克之、尾久裕紀、オリビエ・トレス『桃山学院教育大学研究紀要2019』, pp.15-26. (査読有) |
| 中小企業の事業承継と経営者の健康 日仏共同調査より | 共著 | 2020年4月 | 日本リスクマネジメント学会 | 亀井克之、尾久裕紀、金子信也、『危険と管理』第51号「リスクのグローバル化とリスクマネジメント」2020年4月, pp.33-39. DOI: https://doi.org/10.3230/jarms.0.51_210 (査読無) |

| | | | | |
|--|----|----------|--|---|
| 中小企業経営者の職業性ストレスの実態 ——一般労働者との比較—— (第1報) | 共著 | 2020年5月 | 日本産業衛生学会 | 栗岡住子, 尾久裕紀, 亀井克之『第93回 日本産業衛生学会講演集 メインテーマ 産業衛生の原点に立ち, 将来の労働と健 康について考える』P3-015, p.534, (旭 川市民文化会館) (査読有) |
| 気仙沼オイカワデニムの商品開発: 日本の 新しい希望 | 単著 | 2020年6月 | 日本商品学会 | 『商品研究』第62巻3・4号 (通巻246・ 247号) 特集: 希望の共有, pp.52-57. (査 読無) |
| Gestion de la santé des dirigeants de PME-Comparaison France-Japon- | 共著 | 2020年6月 | Société Franco- Japonaise de Gestion | Katsuyuki Kamei, Hiroki Ggyu, Florence Guiliani et Olivier Torrès, <i>Bulletin de la Société Franco- Japonaise de Gestion</i> , pp.1-13. DOI: https://doi.org/10.32233/sfjg.37.0_1 (査読無) |
| Business succession and Risk Management for Longevity | 共著 | 2020年6月 | IFERA (International Family Enterprise Research Academy) | Katsuyuki Kamei, Tomoyuki Hori and Akari Hori, IFERA 2020 Conference Proceedings- Generations to Generations, Abstract ID: 383, p.206 (査読有) |
| ロイズ保険組合発祥の地 ロンバード街 「ロイズ・コーヒーハウス」 | 共著 | 2020年7月 | ソーシャル・リスク マネジメント学会 | 原文: 亀井利明, 注釈・写真: 亀井克之」 『実践危機管理』第35号, pp.1-8. (査読 無) |
| ポストCovid-19のリスクマネジメントと危 機管理 ——概念とサプライチェーンマネ ジメントの事例—— | 単著 | 2020年11月 | 公益財団法人ひょう ご震災記念21世紀研 究機構 | 『21世紀ひょうご』, 2020 vol.29, pp.6 -22. (査読無) |
| Covid-19による外出制限がフランスの中小 企業経営者の健康に及ぼした影響 —— 2020年4月外出制限令下のフランス中小企 業経営者に対する調査より—— | 共著 | 2020年12月 | 商工総合研究所 | 亀井克之, オリビエ・トレス, 影浦ちひ ろ『商工金融』2020年12月号, pp.4-25. https://shokosoken.or.jp/shokokinyuu/ 2020/12/2020_12_2.pdf (査読無) |
| (書評) | | | | |
| 瀬藤澄彦著『フランスはなぜショックに強 いのか ——持続可能なハイブリッド国家』 (文真堂, 2017年) | 単著 | 2020年6月 | 日仏経営学会 | 『日仏経営学会誌』第37号, pp.49-55. DOI: https://doi.org/10.32233/sfjg.37. 0_49 |
| 渡邊啓貴・上原良子編著『フランスと世界』 (法律文化社, 2019年) | 単著 | 2020年6月 | 日仏経営学会 | 『日仏経営学会誌』第37号, pp.56-59. DOI: https://doi.org/10.32233/sfjg.37. 0_56 |
| 五十畑浩平著『スタージュ フランス版 「インターンシップ」 ——社会への浸透と インパクト——』(日本経済評論社, 2020 年) | 共著 | 2020年6月 | 日仏経営学会 | 階戸照雄, 亀井克之『日仏経営学会誌』 第37号, pp.60-65. DOI: https://doi.org/ 10.32233/sfjg.37.0_60 |
| 宮島康暢著『中小企業における経営計画に よる経営理念の浸透 ——経営の「見える 化」実現に向けて——』(晃洋書房, 2019 年) | 単著 | 2020年7月 | ソーシャル・リスク マネジメント学会 | 『実践危機管理』第35号, p.139. |
| 八木良太著『音楽で起業する ——8人の 音楽起業家たちのストーリー——』(スタイ ルノート, 2020年) | 単著 | 2020年7月 | ソーシャル・リスク マネジメント学会 | 『実践危機管理』第35号, pp.140-141. |
| (その他, 論考・研究資料等) | | | | |
| 『「ホスピタルアートのある街」堺のブラン ド力向上と堺市民の健康意識向上への貢 献』事業報告書 | 単著 | 2019年8月 | 堺市と関西大学との 地域連携協議会 | 『平成30(2018)年度 堺市と関西大学と の地域連携事業実績報告書』, pp.456- 460. |
| 英国チェルシー・ウェストミンスター病院 のホスピタルアートについて | 単著 | 2020年2月 | 関西大学経済・政治 研究所 | 亀井克之編『なぜホスピタルアートを導 入したのか 「ホスピタルアートのある 街・堺」 耳原総合病院・奥村伸二院長 講演録』「調査と資料」第118号, pp.60 -63. |
| 王立マンチェスター眼科病院におけるア ート | 単著 | 2020年2月 | 関西大学経済・政治 研究所 | 亀井克之編『なぜホスピタルアートを導 入したのか 「ホスピタルアートのある 街・堺」 耳原総合病院・奥村伸二院長 講演録』「調査と資料」第118号, pp.67 -72. |

研 究 業 績

| | | | | |
|--|-------|-------------|----------------------|--|
| 王立マンチェスター子ども病院におけるアート | 共著 | 2020年2月 | 関西大学経済・政治研究所 | 亀井克之, 上田正人, 亀井克之編『なぜホスピタルアートを導入したのか「ホスピタルアートのある街・堺」耳原総合病院・奥村伸二院長 講演録』「調査と資料」第118号, pp.73-77. |
| 英国 Lime の活動 | 単著 | 2020年2月 | 関西大学経済・政治研究所 | 亀井克之編『なぜホスピタルアートを導入したのか「ホスピタルアートのある街・堺」耳原総合病院・奥村伸二院長 講演録』「調査と資料」第118号, pp.78-84. |
| あんしん財団・大妻女子大学共同研究「中小企業経営者・個人事業主の健康に関する調査」平成28年12月—令和元年11月研究報告書 | 共著 | 2020年3月 | 一般財団法人あんしん財団, 大妻女子大学 | 尾久裕紀, 亀井克之, オリビエ・トレス, 児島茂雄, 本文218p, 資料44p. |
| 「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献 | 共著 | 2020年9月 | 関西大学地域連携センター | 亀井克之, 上田正人『関西大学地域連携事例集』Vol.5 2020, p.57. |
| たかつきの防災 ～目指せ！未来の防災リーダー～ | 監修 | 2020年6月 | 高槻市総務部危機管理室 | 高槻市防災副読本, 高槻市立小学校5年生配布, 2020年度配布版, 24p. |
| 特集 第23回 ORA 危機管理事例発表大会 | 監修 | 2020年11月 | 大阪外食産業協会 | 『ORA Osaka Restaurant Management Association』Vol.339, 2020.11, pp.4-6. |
| 出版戦略による社会安全学の構築 | 単著 | 2020年 | 関西大学社会安全学部 | 『関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科の10年 2010-2020』, p.27. |
| (エッセー) | | | | |
| 「フランスの最も美しい村」とは何か — 南仏の美しい村々 — | 単著 | 2020年1月 | 大阪能率協会 | 『産業能率』2020年1-2新春号, 連載 [南仏閑話] 第4回, p.54. |
| ワインとアートのマリージュ — シャトー・ラコスト — | 単著 | 2020年3月 | 大阪能率協会 | 『産業能率』2020年3-4陽春号, 連載 [南仏閑話] 第5回, p.36. |
| 3月17日正午～外出禁止令が育んだ連帯感 — 夢と散ったパリでの研究生生活 — | 単著 | 2020年5月 | 大阪能率協会 | 『産業能率』2020年5-6号, 連載 [南仏閑話] 第6回, p.25. |
| 感染症との闘いの物語『ベスト』とアルペール・カミュ — 南仏の美村ルーランから旅立ったノーベル賞作家 — | 単著 | 2020年7月 | 大阪能率協会 | 『産業能率』2020年7-8夏季号, 連載 [南仏閑話] 第7回, pp.26-27 |
| コロナ禍・外出制限令下の中小企業経営者の健康調査より — 南仏発・2020年4月フランス1925人の経営者へのアンケート結果 — | 単著 | 2020年9月 | 大阪能率協会 | 『産業能率』2020年9-10号, 連載 [南仏閑話] 第8回, p.16. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会研究報告等) | | | | |
| 英国王立マンチェスター眼科・子ども病院におけるホスピタルアートと Lime の活動 | 共同 | 2020年1月8日 | 関西大学地域連携センター | 上田正人, 亀井克之「堺市と関西大学との地域連携事業, 「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献, 公開セミナー, 関西大学梅田キャンパス. |
| 「欧州におけるヘルスケアアート活動の事例 — 2019年8月調査・感染拡大直前3月調査より —」 | 単独 | 2020年7月11日 | 日本リスクマネジメント学会 | 総合部会, 後援堺市と関西大学との地域連携事業「ホスピタルアートのある街・堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献」, 2020年9月19日, Zoomによるオンライン開催. |
| 老舗外食企業における危機突破とリーダーシップ | 単独 | 2020年12月5日 | 事業承継学会 | 第11回年次大会, (同志社大学での開催中止) Zoomによるオンライン開催. |
| ファミリービジネスにおける危機突破とイノベーション: 気仙沼オйкаワデニムの事例研究 | 単独 | 2020年12月19日 | ファミリービジネス学会 | 第13回全国大会, (神戸大学での開催中止) Zoomによるオンライン開催. |
| (招待講演) | | | | |
| リスクマネジメントの基本 | 単独 | 2020年7月10日 | 日新火災海上保険株式会社 | 日新火災リーダー研修, 日新火災海上保険株式会社本社. |
| 外食産業のコロナ突破 この危機を乗り越える | 単独 | 2020年10月12日 | 大阪外食産業協会 | 基調講演, 第23回 ORA 危機管理事例発表大会, 大阪ガス ハグミュージアム5階ホール. |

社会安全学研究 第11巻

| 危機管理・リスクマネジメントの考え方 | 単独 | 2020年10月24日 | 日本私立大学連盟 | 「With／After コロナ時代の大学職員のあり方を考える」アドミニストレーター研修、Zoomによるオンライン開催。 |
|---|---------------|-------------|--------------------------------|---|
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題/領域番号:17K02374 | 分担 | 2017～2019年度 | 1,300 (4,160) | コンサートイベントのリスクマネジメントに関する理論的・実証的研究, 研究代表者 八木良太 |
| 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題/領域番号:19K11233 | 分担 | 2019～2021年度 | 1,820 (4,420) | 中小企業経営者における職業性ストレス尺度の開発と実態解明の研究, 研究代表者 栗岡住子 |
| 大妻女子大学・あんしん財団 共同調査 | 分担 | 2016～2020年度 | 500 (43,078) | AMAROK 経営者健康あんしんアクション 研究代表者 尾久裕紀 |
| 堺市と関西大学との地域連携事業 | 代表 | 2018～2020年度 | 1,000 (2,959) | 「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本リスクマネジメント学会 副理事長・事務局長 | | | | |
| 日仏経営学会 会長(2020年9月まで) | | | | |
| ファミリービジネス学会 理事 | | | | |
| ソーシャル・リスクマネジメント学会 理事 | | | | |
| 日本経営学会 | | | | |
| 日本商品学会 | | | | |
| 日本中小企業学会 | | | | |
| 日本保険学会 | | | | |
| 事業承継学会 | | | | |
| PL 研究学会 | | | | |
| AIREPME (Association Internationale de Recherche en Entrepreneuriat et PME) フランス語圏国際アントレプレナーシップ・中小企業学会 副会長 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 日本経済学会連合 評議員 | | | | |
| 経営学関連学会連絡協議会 評議員 | | | | |
| フランス中小企業経営者健康問題支援機構 AMAROK, Observatoire de la santé des dirigeants de PME 日本支部 (AMAROK Japan) 事務局長 | | | | |
| 株式会社 アドバンスクリエイト 顧問 | | | | |
| 大阪能率協会 参与 | | | | |
| 関西大学 準登録学生団体 KUMC 顧問 | | | | |
| 関西大学 体育会 準硬式野球部 顧問 | | | | |
| 全国通訳案内士 フランス語 関西広域連合登録 第FR00099号 1996年6月28日 | | | | |
| 全国通訳案内士 英語 関西広域連合登録 第EN01034号 2017年12月28日 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| (プロデューサー) TEDx Kansai University, 関西大学高槻ミュージックキャンパス ミュージックホール, 2020年3月14日. | | | | |
| (総合司会) 「Covid19×中小企業×観光×心の危機管理×国際比較」日本リスクマネジメント学会関東部会, 関西大学東京センター (Zoomとのハイブリッド開催), 2020年7月11日. | | | | |
| (総合司会) 日本リスクマネジメント学会総合部会, Zoomによるオンライン開催, 2020年9月19日. | | | | |
| (総合司会) 「フランスにおけるアートを通じたヒーリング アルツハイマー病治療におけるアートの活用」パリ, サント・マリー病院医師フロランス・ボンテ講演, 堺市との地域連携事業「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献 Zoomによる連続講演会, 第1回, 2020年12月11日. | | | | |
| (総合司会・通訳) 「フランスにおける外出禁止令/外出禁止令下の経営者の健康/パリの病院アート」モンペリエ大学教授・AMAROK 代表オリビエ・トレス, AMAROK プロジェクトリーダー/モンペリエ大学講師 影浦ちひろ講演, 堺市との地域連携事業「ホスピタルアートのある街」堺のブランド力向上と堺市民の健康意識向上への貢献, Zoomによる連続講演会, 第2回, 2020年12月18日. | | | | |
| (制作) 動画「阪神大震災25年 映画『にしきたショパン』監督インタビュー&試写会」撮影・編集 江田健太郎, 2020年2月 https://youtu.be/DKV7mTRq_Es2019 | | | | |
| (防災教育) 高槻市立津之江小学校5年生に対する防災教育特別授業, 2020年11月20日, 古曽部防災公園 | | | | |

研 究 業 績

- (コメント)「新型コロナウイルスでイベント中止、次々 感染リスク考慮」共同通信 (WEB版) 2020年2月20日
- (コメント)「新型コロナウイルス 感染拡大に警戒 「スポーツ大会」「展示会」「卒業・入学式」中止 縮小 次々」『東京新聞』 2020年2月21日
- (コメント)「イベント開催 悩む関西 新型コロナウイルス拡大受け」『日本経済新聞』 2020年2月21日 朝刊39面
- (コメント)「新型コロナウイルス、大規模市民マラソンにも暗い影 参加料めぐる混乱も」『産経新聞』(WEB版) 2020年2月23日 <https://www.iza.ne.jp/kiji/sports/news/200223/spo20022317310072-n1.html>
- (コメント)「新型コロナウイルス 主催者泣き寝入り」「イベント中止 補償なく」『産経新聞』 2020年2月24日 朝刊3面
- (ラジオ)「興行中止保険について」TBS ラジオ 『ACTION』 2020年2月28日放送
- (コメント)“Coronavirus response an unexpected, crucial test for Abe” The Mainichi (毎日新聞英語版WEB) 2020年3月1日
- (コメント)“Coronavirus response an unexpected, crucial test for Abe”, Kyodo News (共同通信英語版WEB) 2020年3月1日 <https://english.kyodonews.net/news/2020/02/a0120d65e413-focus-coronavirus-response-an-unexpected-crucial-test-for-abe.html?phrase=abe&words=Abe.Abe%27s>
- (コメント)「トイレットペーパー売り切れなぜ」『西日本新聞』WEB版 2020年3月7日 <https://www.nishinippon.co.jp/item/n/590197/>
- (コメント)「トイレットペーパー売り切れなぜ」『西日本新聞』 3月8日 朝刊21面
- (コメント)From Delaying Tokyo Olympics to Declaring State of Emergency: How Japan's COVID-19 Response Evolved, In Mid-March People Looked Forward With Optimism, Japan's Crisis Management Enters a New Phase, Sputnik News "OPINION" 2020年4月7日 <https://sputniknews.com/analysis/202004071078867559-from-delaying-tokyo-olympics-to-declaring-state-of-emergency-how-japans-covid-19-response-evolved/>
- (コメント)「阪神は何を間違えたのか 新型コロナ感染から退院の藤浪が謝罪」『東京スポーツ』 2020年4月8日 <https://www.tokyo-sports.co.jp/baseball/npb/1808670/>
- (コメント)「布マスク 国は情報開示を」『沖縄タイムズ』 2020年4月25日 3面
- (コメント)「布マスク思わぬ逆風 政府は情報開示を」『愛媛新聞』 2020年4月25日 5面
- (コメント)「アベノマスク混乱拡大」「新型コロナ対策2社分全回収」「場当たりの政策の象徴」『京都新聞』 2020年4月25日 3面
- (コメント)「特集 世界で4割の労働者が直面 雇用クライシス コロナ・エフェクトに備えよ」『日経ビジネス』No.2039, 2020年4月27日, p.36
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『熊本日日新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『茨城新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『大分合同新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『北海道新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『河北新報』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『信濃毎日新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『京都新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『神戸新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『徳島新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『愛媛新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『長崎新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『四国新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『神奈川新聞』 2020年5月5日
- (コメント)「<新型コロナ>接触8割減未達成 危機感浸透遅れ」『佐賀新聞』 2020年5月5日 <https://www.saga-s.co.jp/articles/-/519629>
- (記事)「識者評論 緊急事態宣言延長 解除への基準を示せ」『秋田さきがけ』 2020年5月8日
- (記事)「視標 緊急事態31日まで延長 解除の具体基準示せ 社会全体で連携必要」『東奥日報』 2020年5月8日
- (記事)「明快な出口戦略示せ」『宮崎日日新聞』 2020年5月8日
- (記事)「緊急事態宣言延長 識者評論」「休業要請、海外に比べ不徹底」『神戸新聞』 2020年5月8日 4面
- (記事)「視標「緊急事態宣言延長」「解除」の基準示せ 文化への支援も」『山陽新聞 digital』さんデジ 2020年5月8日
- (記事)「視標「緊急事態宣言延長」「解除」の基準示せ 文化への支援も」『福井新聞』D刊 2020年5月8日
- (記事)「新型コロナこう考える 緊急事態解除基準示せ 文化への支援も必要」京都新聞 2020年5月9日 5面
- (コメント)「外出自粛要請に大音量の緊急速報メール 神奈川県知事の手法に賛否」『毎日新聞』(WEB版) 2020年5月11日 <https://mainichi.jp/articles/20200511/k00/00m/040/287000c>
- (コメント)「宿泊業の倒産ラッシュ本格化、もう訪日客には頼れない」『yahoo!ニュース ビジネス+IT』 2020年5月26日 <https://www.sbbit.jp/article/cont1/38056>
- (記事)「危機突破には多様性認めるリーダーの力」『日経産業新聞』 2020年5月28日
- (記事)「危機突破には多様性認めるリーダーの力」「成功体験の延長ではない 新しい事業スタイル構築」『日本経済新聞』大阪版「ものづくり関西NEXT」 2020年5月29日 朝刊 24面

- (コメント)「Jリーグ・プロ野球, 全選手にPCR 定期的に唾液採取」「広がる「陰性」確認検査」「専門家「精度に限界」」『朝日新聞』2020年6月10日 夕刊6面
- (コメント)「Jリーグ・プロ野球, 全選手にPCR 定期的に唾液採取」『朝日新聞デジタル』 https://www.asahi.com/articles/ASN6B2HR9N69ULBJ006.html?ref=pc_ss_date
- (コメント)「自粛要請中の歓迎会「不適切だった」…感染の警察署長ら処分(兵庫県警)」『読売新聞』 神戸版 2020年6月16日 朝刊 29面
- (コメント)「広告落ち込み 電通逆風 圧力関与疑い」『朝日新聞』2020年6月20日 朝刊7面
- (記事)「日本リスクマネジメント学会 オンラインで関東部会開催」「コロナが与えた社会的リスク検討」「中小企業支援策や国際比較など検討」『保険毎日新聞』 2020年8月7日 6面
- (コメント)「新指標 具体策は地域任せ 緊急事態避けたい政府 対策先行する県懸念も 「感染急増」級すでに 「どう判断」不透明」「国は指標について自治体とのすりあわせを」『朝日新聞』 2020年8月8日 朝刊2面「時々刻々」
- (記事)「日本企業のリスクマネジメントは機能したか?」『BCPリーダーズ』2020年8月号 リスク対策.com 2020年8月1日 <https://www.risktaisaku.com/articles/-/39074>
- (コメント)「社員感染 公表に苦慮」「地域へ周知 中傷を懸念」「企業の責任」識者賛否」『読売新聞』 岩手版 2020年8月26日 朝刊23面
- (コメント)「専門家「新政権下で過程検証を」 記憶に残る? アベノマスク」『長崎新聞』 2020年9月7日 6面
- (コメント)「アベノマスク」『沖縄タイムズ』 2020年9月7日
- (コメント)「アベノマスク」『信濃毎日新聞』 2020年9月7日
- (コメント)「国民の記憶に残るキーワード アベノマスクって何だった? 専門家「象徴的な失策」」『佐賀新聞』 2020年9月7日 2面
- (コメント)「何だったの? アベノマスク「象徴的な失策」 専門家指摘」『室蘭民放』2020年9月7日 4面
- (コメント)「阪神球団社長「引責、辞任ショック!」 専門家から「もう少し選手処分の情報を明かすべき」の声」『東スポWEB』2020年10月10日 <https://www.tokyo-sports.co.jp/baseball/npb/2265309/>
- (記事)「愛あればこそ阪神 虎のオブリージュ果たせ」『朝日新聞』2020年11月7日 朝刊7面
- (記事)「愛あればこそ阪神 虎のオブリージュ果たせ」『朝日新聞デジタル』2020年11月7日 https://www.asahi.com/articles/ASNC65QN5NC1PTQP013.html?iref=comtop_Sports_01
- (コメント)「霊長類研 新たに6.2億円不正 京大、把握も公表せず」『産経新聞』2020年11月11日 朝刊26面
- (コメント)「日新火災 関西大学社会安全学部で寄付講座 現役社員が4講座で講師担当 リスクファイナンスへの理解促す」『保険毎日新聞』2020年11月30日 10面
- (記事)「仏大学の副読本で紹介 オイカワデニム会長及川さん 関西大亀井教授が執筆」「オイカワデニムの事例 創業者の妻が事業承継した日本企業」をテーマに執筆」『三陸新報』2020年12月6日 7面
- (コメント)「東京福祉大総長が復職 過去に強制わいせつ罪で実刑判決 文科省への説明、ほごに」「組織脅かす「ワンマン経営」リスク」『デジタル毎日』2020年12月22日 <https://mainichi.jp/articles/20201222/k00/00m/040/171000c>
- (コメント)「東京福祉大総長が復職 過去に強制わいせつ罪で実刑判決 文科省への説明、ほごに」「組織脅かす「ワンマン経営」リスク」『毎日新聞』2020年12月23日 24面
- (ラジオ)「社会安全学部林能成研究室所属・トライアスロン選手・内田弦大さんとの対話(1)」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2020年6月8日
- (ラジオ)「社会安全学部林能成研究室所属・トライアスロン選手・内田弦大さんとの対話(2)」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2020年6月15日
- (ラジオ)「社会安全学部林能成研究室所属・トライアスロン選手・内田弦大さんとの対話(3)」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2020年6月22日
- (ラジオ)「スポーツと社会安全学・リスクマネジメント論」『Hit & Hit!』 あんぜん・あんしんアンサンブル, OBC ラジオ大阪, 2020年6月29日

研 究 業 績

■ 川 口 寿 裕

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) 周回方向制限による対面時間の削減効果に ついて | 単著 | 2020年12月 | 交通数理研究会 | 第26回交通流と自己駆動粒子系シンポジ ウム論文集(査読有), 川口寿裕, pp.31 -34 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 感染症拡大対策としての周回方向制御 | 単独 | 2021年1月28日 | 関西大学 | 第25回先端科学技術シンポジウム, オン ライン |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (C) | 代表 | 2019~2021年 | 700 (3,400) | 微視的ならびに巨視的な歩行者挙動計測 データに基づく歩行者行動モデルの高精度化 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本機械学会, 粉体工学会, 日本混相流学会, 可視化情報学会, 日本災害情報学会, 交通工学研究会, 日本建築学会 | | | | |

■ 越山 健治

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) 災害復興における都市計画事業の課題と論 点 | 単著 | 2020年9月 | 土地総合研究所 | 土地総合研究 第28巻第3号, pp.3-8 |
| 被災現象と避難行動の関係に情報がどう関 わるのか? | 単著 | 2020年7月 | 災害情報学会 | 災害情報 No.18-2, pp.149-152 |
| 「避難所運営マニュアル」の構成と項目に関 する研究 | 共著 | 2020年11月 | 地域安全学会 | 地域安全学会論文集 No.37, pp.209 -218, 査読有り |
| (その他, 論考・研究資料等) 西日本豪雨における人々の反応 | 単著 | 2020年1月 | 消防防災科学センタ ー | 消防防災の科学 No.139, pp.40-43 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) シンポジウム「避難」のあるべきを考える | 共同 | 2020年11月29日 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会第22回学会大会シンポ ジウム, 東京 |
| シンポジウム 復興検証と知識継承「事実の 共有」から「新しい知識」へ | 共同 | 2020年9月17日 | 日本都市計画学会関 西支部 | 都市計画学会関西支部復興検証・知識継 承委員会シンポジウム |
| (招待講演) 被災者の暮らしと住まいの再建 | 単独 | 2020年10月21日 | ひょうご震災記念21 世紀研究機構 | ひょうご講座 防災・復興 激甚化する 自然災害に備える・兵庫 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費・基盤研究B | 代表 | 2018-2020 | 5000 (17160) | 巨大災害を迎え撃つ防災計画体系の構築 |
| 文部科学省科学研究費・基盤研究A | 分担 | 2018-2020 | 300 (2300) | 水害時における避難行動理論の構築 |
| 文部科学省科学研究費・基盤研究A | 分担 | 2016-2020 | 100 (600) | 福島第一原子力発電所事故を教訓とした 大規模緊急広域避難対策に関する社会情 報学研究 |
| 関西大学教育研究緊急支援経費 | 代表 | 2020 | 870 | COVID-19における日本の対策本部活動 状況の資料分析 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本建築学会 都市計画部会事前防災復興小委員会 日本都市計画学会関西支部 特別委員会 地域安全学会 学術委員会 日本災害情報学会 編集委員会 日本火災学会 日本災害復興学会 都市住宅学会 日本危機管理防災学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 日本経済新聞夕刊「復興住宅 減らぬ孤独死」(1月18日報)取材対応 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 高槻市総合計画審議会委員 高槻市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員 京都府戦略的地震防災対策推進部会委員 京都市地域コミュニティ活性化推進審議会 副委員長 大阪府耐震改修促進計画審議会 副委員長 | | | | |

研究業績

■ 高鳥毛 敏 雄

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|----------------------|---|
| (著書) 「学生のための医学概論」第3章 医療がたどってきた道と未来への展望 1 近代医学の誕生と感染症対策 | 分担執筆 | 2020年2月 | 医学書院 | 学生のための医学概論 第4版、編集者：小橋元・近藤克則・黒田研二・千代豪昭, 104-117. |
| (学術論文) 日米の大都市における健康格差に対する公衆衛生活動に関する一考察 | 共著 | 2020年3月 | 名寄市立大学 | 名寄市立大学紀要, 山中珠美, Vol.14, 37-46. 査読有 |
| (その他の著作・論考等) 中村哲医師のアフガニスタンにおける活動から公衆衛生の原点をみつめる | 単著 | 2020年3月 | 大阪公衆衛生協会 | 大阪公衆衛生, Vol.91, 4-7. |
| 新型コロナ 保健所悲鳴公衆衛生の体制議論を | 単著 | 2020年3月23日 | しんぶん赤旗 | 論説 |
| 保健所コロナ対応の“要”体制強化急務生命と医療機関守る役割 | 単著 | 2020年4月12日 | 京都民報社 | 週刊京都民報, No.2928, 3-3. |
| 新型コロナ, 日本独自戦略の背景に結核との闘い— 対策の要「保健所」の歴史から見えるもの— | 単著 | 2020年5月25日 | 共同通信 | インタビュー記事 WEB 配信 https://this.kijiiis/636063326715642977 |
| 結核が作った“日本の公衆衛生”保健所解体は不十分な議論で進められた | 単著 | 2020年6月5日 | 大阪府保険医協会 | 大阪府保険医新聞, インタビュー記事, No.2013, 1-2. |
| 京都市コロナ対応「体制脆弱のまま「第2波」対応できない保健所, 衛生研の強化を | 単著 | 2020年6月7日 | 京都民報社 | 週刊京都民報, No.2935, 3-3. |
| コロナ 次に備える 拠点医療機関を中心に | 単著 | 2020年6月18日 | 長崎新聞 | 評論 |
| 保健所の体制 限界に 負担軽減へ分担再考を | 単著 | 2020年6月20日 | 静岡新聞 | 指標 |
| コロナ 次に備える 拠点医療機関中心に | 単著 | 2020年6月22日 | 埼玉新聞 | 解説・オピニオン |
| 保健所の体制は限界 拠点医療機関を中心に | 単著 | 2020年6月23日 | 佐賀新聞 | 評論 |
| 「コロナ 次に備える」拠点医療機関を中心に保健所は限界 | 単著 | 2020年6月26日 | 日本海新聞 | 指標 |
| 日本の感染症対策の歴史から新型コロナウイルス感染症を考える | 単著 | 2020年8月 | 働くもののいのちと健康を守る全国センター | 働くもののいのちと健康, Vol.84, 153-157. |
| 新型コロナ感染症と日本の公衆衛生の到達点 | 単著 | 2020年8月 | 新日本出版社 | 経済, No.299, 2000年8月号, 75-85. |
| 日本の公衆衛生の歴史とその社会的役割の変遷 | 単著 | 2020年8月 | 大阪府保険医協会 | 大阪保険医雑誌, No.648, 10-13. |
| Why Can't We Solve Our Own Problems ウイルスが問いかける「不自然な」地域構造 | 単著 | 2020年8月 | Foebes Japan | Forbes, No73, 92-93. |
| 新型コロナをどう受け止め対応すべきか— 公衆衛生の立場から— | 単著 | 2020年8月 | 関西大学 | Reed, No.62, 1-1. |
| 論説 新型コロナウイルスに対する感染症対策を問う— 公衆衛生の観点から— | 単著 | 2020年9月 | 部落問題研究所 | 人権と部落問題, NO.939, 47-53. |
| 新型コロナウイルス感染症の対策を支えている保健所と結核対策の歴史 | 単著 | 2020年9月 | 結核予防会 | 複十字, No.394, 9-10. |
| 感染症対策は社会全体で | 単著 | 2020年10月11日 | 読売新聞 | 鼓門 |
| 日本の感染症法が成立するまでの歴史とその後の到達点— 新型コロナ流行が顕在化させた課題 | 単著 | 2020年11月 | 日本科学者会議 | 日本の科学者, Vol.55, 36-37. 査読有 |
| 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と社会との関係のこれまでとこれからを展望する | 単著 | 2020年12月 | 大阪成人病協会 | 成人病, Vol.60, No.300, 3-4. |

| | | | | |
|---|------|----------|----------|--|
| COVID-19に対処した保健所とその役割を歴史的経緯からみる | 単著 | 2020年12月 | 医学振興協会 | 大阪大学医学部 学友会誌, Vol.40, 10-16. |
| (論文翻訳監修) 統合失調症の有無によるがん患者の終末期の医療とケアの比較：フランス国立病院データベースによる地域住民に基づいたコホート研究 End-of-life care among patients with schizophrenia and cancer: a population-based cohort study from the French national hospital database Lancet Public Health. 2019 Nov; 4 (11): e583-e591. doi: 10.1016/S2468-2667 (19) 30187-2. | 翻訳監修 | 2020年1月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 英国の医療制度 (NHS) と高所得国の医療制度のパフォーマンスの比較評価 Performance of UK National Health Service compared with other high income countries: observational study BMJ. 2019 Nov 27; 367: l6326. doi: 10.1136/bmj.l6326. | 翻訳監修 | 2020年2月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 慢性関節リウマチ患者に対する高用量と標準用量の不活化インフルエンザワクチンの免疫原性及び安全性の比較検討：無作為・二重盲検・実薬対照研究 Immunogenicity and safety of high-dose versus standard-dose inactivated influenza vaccine in rheumatoid arthritis patients: a randomised, double-blind, active-comparator trial Lancet Rheumatol 2020, Published: November 20, 2019, DOI: https://doi.org/10.1016/S2665-9913 (19) 30094-3 | 翻訳監修 | 2020年3月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 小児の水痘感染曝露後の成人の帯状疱疹の発症予防効果仮説の検証：英国の地域の医療データ内の自己比較研究 Risk of herpes zoster after exposure to varicella to explore the exogenous boosting hypothesis: self controlled case series study using UK electronic healthcare data BMJ. 2020 Jan 22; 368: l6987. doi: 10.1136/bmj. l6987. | 翻訳監修 | 2020年4月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| ツベルクリン反応検査、又はインターフェロン γ 遊離検査の陽性未治療者の結核発症リスクの検討：システマティックレビューとメタアナリシス Absolute risk of tuberculosis among untreated populations with a positive tuberculin skin test or interferon-gamma release assay result: systematic review and meta-analysis BMJ. 2020 Mar 10; 368: m549. doi: 10.1136/bmj. m549. | 翻訳監修 | 2020年5月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系阻害薬 (RAAS 阻害剤) と Covid-19 の感染リスク及び重症化リスクの検討 Renin-Angiotensin-Aldosterone System Blockers and the Risk of Covid-19 N Engl J Med. 2020 May 1. doi: 10.1056/NEJMoa2006923. Online ahead of print | 翻訳監修 | 2020年6月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |

研 究 業 績

| | | | | |
|---|-------|-------------|-----------------|---|
| イタリアの新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症の流行中心地域における重症の川崎病様疾患のアウトブレイク：観察型コホート研究 An outbreak of severe Kawasaki-like disease at the Italian epicentre of the SARS-CoV-2 epidemic: an observational cohort study Lancet. 2020 Jun 6; 395 (10239): 1771-1778. doi: 10.1016/S0140-6736 (20) 31103-X. Epub 2020 May 13. | 翻訳監修 | 2020年7月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 関節リウマチ疾患を発症していない者における腸内細菌叢とその遺伝的リスク因子との関連性の検討：横断研究 Associations between gut microbiota and genetic risk for rheumatoid arthritis in the absence of disease: a cross-sectional study Lancet Rheumatol 2020; 2: e418-27 | 翻訳監修 | 2020年8月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| システマティックレビューとネットワークメタ解析による関節リウマチに対する生物学的製剤の治療効果の比較 Comparative effectiveness of biological medicines in rheumatoid arthritis: systematic review and network meta-analysis including aggregate results from reanalysed individual patient data BMJ. 2020 Jul 7; 370: m2288. doi: 10.1136/bmj.m2288. | 翻訳監修 | 2020年9月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 脊髄小脳失調症 (SCA) の 1, 2, 3, 6 型遺伝子変異保有の症状発現時期とその進展に関する検討：RISCA コホートを使った追跡研究 Conversion of individuals at risk for spinocerebellar ataxia types 1, 2, 3, and 6 to manifest ataxia (RISCA): a longitudinal cohort study Lancet Neurol. 2020 Sep; 19 (9): 738-747. doi: 10.1016/S1474-4422 (20) 30235-0. | 翻訳監修 | 2020年10月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 腎移植患者に対する自己血の制御性 T 細胞投与の安全性と治療効果：第 I/IIa 相臨床試験 Regulatory T cells for minimising immune suppression in kidney transplantation: phase I/IIa clinical trial BMJ. 2020 Oct 21; 371: m3734. doi: 10.1136/bmj.m3734. | 翻訳監修 | 2020年11月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 米国食品医薬品局 (FDA) と欧州医薬品庁 (EMA) の新薬の迅速承認制度と新薬の治療価値との関連性：後向きコホート研究 Association between FDA and EMA expedited approval programs and therapeutic value of new medicines: retrospective cohort study BMJ. 2020 Oct 7; 371: m3434. doi: 10.1136/bmj.m3434. | 翻訳監修 | 2020年12月 | 大阪難病研究財団 | 難病情報データベース 難病 Update https://nanbyo.or.jp/s/202001ta/ |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 日本結核・非結核性抗酸菌症学会・日本公衆衛生学会ジョイントシンポジウム感染症診査会 (結核) のあり方等, 今後の保健所の役割, 結核医療供給 | 共同 | 2020年10月12日 | 日本結核・非結核性抗酸菌症学会 | 第95回日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会 (WEB開催, 横浜市), 座長 |

社会安全学研究 第11巻

| | | | | |
|--|------------|-------------|-------------------------------|---|
| シンポジウム A3-3 超高齢社会と人口偏在における複合災害への備えをどうするか座長 安村誠司, 高島毛敏雄 | 共同 | 2020年10月20日 | 日本公衆衛生学会 | 第79回日本公衆衛生学会総会 (WEB開催, 京都市) |
| メインシンポジウムⅢ 新型コロナウイルス感染症対策と地域社会における連携座長 高島毛敏雄, 白井千香 | 共同 | 2020年10月24日 | 日本公衆衛生学会 | 第79回日本公衆衛生学会総会 (WEB開催, 京都市) |
| (招待講演, 講座) 災害と住民の安全 — 公衆衛生の役割を考える — | 単独 | 2020年1月18日 | 全国保健師活動研究会 | 第52回全国保健師活動研究集会 (京都市, 京都テルサ) |
| 保健所は地域の公衆衛生センターになっているのか | 共同 | 2020年1月19日 | 全国保健師活動研究会 | 第52回全国保健師活動研究集会 (京都市, 京都テルサ) |
| フォーカスグループディスカッション地域保健における保健所に求められる役割 | 共同 | 2020年2月16日 | 浜松医科大学 | 厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) (東京都品川区, AP品川) |
| 1996年堺市学童集団下痢症 O-157発生時の行政対応 | 共同 | 2020年3月2日 | 株式会社三菱総合研究所 | 新型インフルエンザ等のパンデミック発生時のコミュニケーションに関する調査事業 (東京都千代田区, 三菱総研) |
| 「新型コロナが突き付けたクライシス」最悪シナリオはどこにある | 共同 | 2020年4月21日 | 関西大学社会安全学部・産経新聞 | 関大オンラインセミナー<危機の時代新型コロナが突き付けたクライシス> |
| 国民の命を守る公衆衛生・医療の在り方 | 共同 | 2020年5月10日 | 日本科学者会議 | 日本科学者会議連続 Web シンポジウム「コロナウイルス禍が問う現代市民社会」第1回 生物学・医学の視点から, (WEB開催) |
| 新型コロナ対策を日本の感染症対策の歴史から読み解く | 単独 | 2020年7月25日 | 大阪経済法科大学・アジア研究所 | 大阪経済法科大学・アジア研究所<オンライン学術講演会> |
| 公衆衛生対策における保健師の位置づけと役割 | 単独 | 2020年9月8日 | 大阪府健康医療部 | 大阪府保健師中堅期研修会「公衆衛生看護研修」(大阪市中央区, 大阪府庁, WEB研修) |
| 社会医学を学ぶ — 行政と公衆衛生を中心に — | 単独 | 2020年9月17日 | 大阪民主医療機関連合会 | 大阪民主医療機関連合会医学生班社会医学を学ぶ会 (WEB開催) |
| 新型コロナ後の社会 — 何をもたらしたのか — | 単独 | 2020年11月5日 | パナソニックグループ労働組合連合会 | 2020年度 PCM 国内研修 (門真市, パナソニックユニオンプラザ) |
| コロナ禍の真ただ中で、あいろん地域でのまちづくりを公衆衛生学の立場から考える～大阪社会医療センターの12/1 移転完了・新ステージ移行にも絡めて～ | 単独 | 2020年11月12日 | 釜ヶ崎のまち再生フォーラム | 大阪市西成区, 大阪市立大学西成プラザ (太子福祉館), 第219回まちづくりひろば |
| 保健所の防疫にかかる役割強化 | 単独 | 2020年12月5日 | 結核予防会結核研究所 | 結核低まん延化を踏まえた国内の結核対策に資する研究 (代表者結核研究所長 加藤誠也) 結核対策指導者養成研修修了者による全国会議 (WEB開催) |
| 感染症と公衆衛生 — 日本における公衆衛生の独自性と課題 — | 単独 | 2020年12月6日 | 大阪府健康医療部医療対策課 | 大阪府主催 (MASH大阪協力) STI 学習会 — HIV と新型コロナウイルス —, WEB開催, 大阪市北区コミュニティセンター dista |
| COVID-19に対する 公衆衛生と医療の関係を展望する | 単独 | 2020年12月26日 | 日本医学会 | 日本医学会公開フォーラム「コロナへの対峙: 保健・医療の変容とこれからの社会」, 東京都文京区, 日本医師会館 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額) (単位: 千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 基盤研究 (A) | 分担 | 2020~2022年 | 300 | 食品選択, 食事内容構成の意思決定と健康リスクコミュニケーションの要件 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本社会医学会・理事長 日本公衆衛生学会・理事 日本公衆衛生学会・感染症対策委員会・副委員長 日本公衆衛生学会・災害・緊急時公衆衛生活動委員会・副委員長 日本結核・非結核性抗酸菌症学会・代議員 | | | | |

研 究 業 績

(社会貢献活動)

大阪大学大学院医学系研究科・非常勤講師

関西看護大学・非常勤講師

大阪府教育委員会事務局・学校保健指導医（技師）

大阪府感染症審議会・結核対策部会・委員

大阪市結核対策評価委員会・委員

大阪府立学校職員健康審査会・常任委員

大阪府立学校結核対策審議会・委員

東大阪市感染症の診査に関する協議会・委員

高槻市地域包括ケア推進会議・委員長

高槻市保健医療審議会・委員

高槻市感染症診査協議会・委員

公益法人大阪公衆衛生協会・理事

公益法人大阪成人病協会・評議員

ストップ結核パートナーシップ日本・理事

医学書院 雑誌公衆衛生・編集委員

大阪府医師会調査委員会・委員

豊中市民病院運営審議会・会長

社会福祉法人大阪社会医療センター・評議員

■ 高野 一彦

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|-----------------|----------------------|--------------------|---|
| (論考・研究資料等) 持続的成長に向けたコンプライアンス・プログラムとは | 単著 | 2020年2月 | PHP 研究所 | 衆知2020.3-4号, pp.82-85 |
| ニューノーマル時代の企業活動とビデオ会議システム——経営倫理教育を中心として—— | 単著 | 2020年10月 | 経営倫理実践研究センター | 経営倫理100号, pp.5-8 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会・学術団体発表) 健康で安全な職場が醸成する社員のモチベーション | 単独 | 2020年2月13日 | 日本経営倫理士協会 | 日本経営倫理士協会 第10回特別シンポジウム, 於関西大学東京センター |
| 新型コロナウイルスパンデミックに関する企業の現状と今後の対策 | パネルチェア | 2020年9月1日 | 経営倫理実践研究センター | 経営倫理実践研究センター特別セミナー「企業は新型コロナウイルスパンデミックの第二・三波の到来に備えて何をすべきか？」河田恵昭先生招聘講演, ZOOMとYoutube 配信 |
| 2003年個人情報保護法の成立から2020年改正までの論点 | 単独 | 2020年9月15日 | 経営倫理実践研究センター | 法令部会オープンセミナー, ZOOM 配信 (新潟大学 鈴木正朝教授との合同講演) |
| ハラスメント(パワハラ・セクハラ・働き方改革)の判例と立法のクロノロジー | 単独 | 2020年10月20日 | 経営倫理実践研究センター | 法令部会オープンセミナー, ZOOM 配信 (厚生労働省 溝田景子室長との合同講演) |
| (招待講演) コンプライアンス経営 | 単独 | 2020年2月15日 | 中日本高速道路株式会社 | 中日本高速道路株式会社コンプライアンス講演会, 於同社人材開発センター(神奈川) |
| コンプライアンス経営の重要性——ハラスメントを中心として—— | 単独 | 2020年3月11日 | NTTラーニングシステムズ株式会社 | NTTラーニングシステムズ株式会社役員講演会, 於同社本社(東京) |
| 経営者に求められる倫理観とコンプライアンス経営のポイント | 単独 | 2020年3月24日 | 株式会社 乃村工藝社 | 株式会社乃村工藝社グループ役員研修会, 於同社本社(東京) |
| 企業のリスクマネジメントと役員の実務——個人情報・ハラスメント・コロナ問題など近時の課題にどう対応していくのか—— 民法(私法) | 単独 | 2020年7月9日 | 株式会社ダスキン | 株式会社ダスキン役員研修会, 於同社本社(大阪) |
| コンプライアンス経営 | 単独 | 2020年8月5日 ～6日 | 株式会社大林組 | 株式会社大林組 民法(私法)研修, ZOOM 講演 |
| With コロナ社会と ESG 経営 | コーディネータ, パネルチェア | 2020年9月17日 | 中日本高速道路株式会社 | 中日本高速道路株式会社リスクマネジメント・コンプライアンス研修, ZOOM 講演 |
| リスクマネジメント経営 | 単独 | 2020年10月6日 | 関西大学 | 関西大学オープンカレッジ梅田 MeRISE ビジネスコンプライアンススクール開講記念シンポジウム, 山口利昭弁護士招聘講演, ZOOMとYouTube 配信 |
| 企業価値を創造するコンプライアンス経営——個人情報, 贈賄, 働き方などの近時の課題への対応を中心として—— | 単独 | 2020年11月6日, 10日, 20日 | 株式会社富士通ゼネラル | 株式会社富士通ゼネラル リスクマネジメントキーパーソン研修, ZOOM 講演 |
| 西日本旅客鉄道株式会社 役員向けシナリオ非提示型の地震対応訓練 | 単独 | 2020年11月25日 | 株式会社三菱ケミカルホールディングス | 株式会社三菱ケミカルホールディングス MCHC グループ役員コンプライアンス研修会, 録画講演 |
| 西日本旅客鉄道株式会社 役員向けシナリオ非提示型の地震対応訓練 | 講評 | 2020年12月7日 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 西日本旅客鉄道株式会社の役員向け危機対応訓練, 於同社本社(大阪) |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本経営倫理学会 理事(2011年6月～), 常任理事(2017年6月～現在) | | | | |
| 情報ネットワーク法学会 監事(2012年1月～現在), 同学会ネット社会法務研究会 主査(2019年3月～現在) | | | | |
| 日本リスクマネジメント学会 評議員(2008年9月～現在), 監事(2016年9月～現在) | | | | |
| ソーシャルリスクマネジメント学会 理事(2013年～現在) | | | | |
| 堀部政男情報法研究会 理事(2010年4月～), 監事(2019年1月～現在) | | | | |
| 日本DPO協会 顧問(2020年1月～現在) | | | | |

研 究 業 績

| |
|---|
| 日本リスク研究学会 会員 法とコンピュータ学会 会員 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 会員 情報法制学会 会員 |
| (社会貢献活動) 経営倫理実践研究センター フェロー (2010年4月～), 主任研究員 (2011年4月～), 上席研究員 (2012年4月～現在) 日本経営倫理士協会 理事 (2013年7月～現在) 神戸市 個人情報保護審議会 委員 (2016年2月～現在) 情報法制研究所 参与 (2016年5月～現在) 株式会社アデランス 社外取締役 (2016年5月～現在) 関西電力株式会社 経営監査委員 (2014年7月～現在) 公益財団法人 ベネッセこども基金 評議員 (2014年11月～現在) 中外製薬株式会社 アドバイザリーコミッティー委員 (2016年1月～現在) 西日本旅客鉄道株式会社 アドバイザー (2018年3月～現在) 関西大学オープンカレッジ 梅田MeRISE「ビジネスコンプライアンススクール」コーディネータ (2020年10月～現在) |
| (その他業績として記載を希望する事項) ✓ CSRレポート等の第三者意見の執筆 「第三者意見」所収「タクマCSR報告書2019」2020年, p.67 「第三者意見」所収「日本ガイシ NGK Report 2019」2020年, p.83 |

■ 高橋 智幸

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|--------------------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) 海底基盤データを利用した津波移動床解析 の改善の試み——気仙沼湾での事例—— | 共著 | 2020年11月4日 | 土木学会 | 土木学会論文集B2 (海岸工学), Vol.76, No.2, pp.I_427-I_432, 山下 啓, 菅原大助, 有川太郎, 高橋智幸, 今村文 彦, 査読有, https://doi.org/10.2208/ kaigan.76.2_I_427 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 巨大地震津波を対象とした津波統合モデル 解析の展開～非地震性津波を見据えた検討～ | 単独 | 2020年7月20日 | 東北大学災害科学国 際研究所 | IRIDeS 金曜フォーラム, 仙台市 |
| 津波波源の不均質性による津波高分布の複 雑さに関する数値実験 | 単独 | 2020年12月3日 | 東京理科大学 | 国内外における海洋レーダ情報の利活用 高度化戦略に関する研究集会, オンライン |
| (招待講演) 東日本大震災以降の津波防災研究の概要 津波防災研究よもやま話～東日本大震災で の津波被害を踏まえて～ | 単独 単独 | 2020年1月20日 2020年1月27日 | 原子力規制庁 東海・東南海・南海 地震津波研究 | 原子力規制庁内勉強会, 東京 第1回東海・東南海・南海地震津波研究 講演会, 大阪市 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽) | 分担 | 2019年～2020年 | 100 | 骨とサンゴのアナロジーに着目したサン ゴ礁の早期再生手法の開発 |
| 関西大学・教育研究高度化促進費 | 分担 | 2019年～2020年 | 0 | 微弱電流によるサンゴの成長促進メカニ ズムの解明とサンゴ群衆再生技術の開発 |
| 三菱電機 共同研究 | 分担 | 2020年 | 1,350 | 津波及び高潮発生モデルの研究 |
| 京都大学防災研究所 共同研究 | 代表 | 2020年 | 588 | 津波解析ハッカソン |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本土木学会 日本地震学会 日本自然災害学会 日本災害情報学会 日本地球惑星科学連合 大規模災害対策研究機構 American Geophysical Union | | | | |
| (社会貢献活動) 土木学会 原子力土木委員会 委員 土木学会 原子力土木委員会 津波評価小委員会 委員長 土木学会 海岸工学委員会 委員 土木学会 海岸工学委員会 津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会 委員長 土木学会 海岸工学委員会 論文集編集小委員会 委員 土木学会 減災アセスメント小委員会 委員 土木学会 海洋開発論文集査読小委員会 委員 日本自然災害学会 科学編集委員会 委員 The IUGG Joint Tsunami Commission Member Journal of Disaster Research Editorial Board Member The Local Organizing Committee Member of International Tsunami Symposium The International Advisory Committee Chairperson of International Tsunami Symposium 文部科学省 地震調査研究推進本部 専門委員 国土交通省 東北地方整備局 リバーカウンセラー | | | | |

研 究 業 績

総務省 インドネシア国における津波・海洋レーダーの導入に向けた調査検討委員会 委員
原子力規制委員会 原子炉安全専門審査会及び核燃料安全専門審査会 臨時委員
防災科学技術研究所 津波ハザード・リスク情報の高度利用に関する委員会 委員
大阪府 河川構造物等審議会 委員
大阪府 石油コンビナート等防災本部 専門員
福井県 津波浸水想定設定に関するアドバイザー
高槻市 都市計画審議会 委員
国立大学法人愛媛大学 客員教授
特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構 副理事長
財団法人防災研究協会 非常勤研究員

■ 土田 昭 司

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|---|--|
| (学術論文) 要配慮者概念の変遷と要配慮者に対するケ イパビリティアプローチの提案 | 共著 | 2020年3月 | 社会安全研究センタ ー | 社会安全学研究：第10巻, 3-13. (査読 有) (静間健人, 土田昭司, 辛島恵美子, 菅磨志保) |
| (その他, 論考・研究資料等) 第三者意見 | 単著 | 2020年7月 | 西日本高速道路株式 会社 | NEXCO 西日本グループレポート2020: 49頁. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 南京大学学生を対象とした災害時パニック 行動傾向性調査 | 単独 | 2020年2月25日 | 中国災害行動研究会 | 中国災害行動研究会 (関西大学社会安全 学部 [大阪府高槻市]) |
| ICRP TG114の活動 (国際対応委員会企画 セッション「放射線防護に係る最新の国際 動向から」) | 単独 | 2020年6月30日 | 日本保健物理学会 | 日本保健物理学会第53回大会 (Online) |
| 高レベル放射性廃棄物の地層処分につい ての情報呈示がリスク認知に与える効果の検 討 | 共同 | 2020年9月16日 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会2020年秋の大会 (Online) (浦山郁, 土田昭司) |
| 一般公衆の リスク対応 (理事会企画セッシ ョン「目に見えない脅威にどう対処するの か? : 新型コロナウイルスと放射性物質」) | 単独 | 2020年9月17日 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会2020秋の大会 (Online) |
| 原子力世論と原子力学会員の認識 (社会・ 環境部会企画セッション「原子力に対する 世論動向」) | 単独 | 2020年9月18日 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会2021秋の大会 (Online) |
| 2020年8月における新型コロナウイルス感 染症流行への人々の反応 (企画セッション 「新型コロナウイルス感染症流行に対する市 民: 一般市民, 海外在住日本人」) | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回大会 (Online) (土 田昭司, 元吉忠寛, 近藤誠司, 静間健人, 浦山郁, 小村佳代) |
| 新型コロナウイルス感染症流行にともな う海外在住日本人の状況 (企画セッション 「新型コロナウイルス感染症流行に対する市 民: 一般市民, 海外在住日本人」) | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回大会 (Online) (近 藤誠司, 土田昭司) |
| 新型コロナウイルス感染症流行にともな う新常態への人々の対応 (企画セッション 「新型コロナウイルス感染症流行に対する市 民: 一般市民, 海外在住日本人」) | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回大会 (Online) (静 間健人, 土田昭司) |
| Chinese Panic Behaviors in Earthquakes | 共同 | 2020年12月14日 | The Society for Risk Analysis | The Society for Risk Analysis, Annual Meeting 2020 (Online) (Tsuchida, S., Zhai, G., Urayama, K., Shizuma, T., Kubo, M., Omura, K.) |
| (招待講演) Safety and Risk in Social Psychological Perspective | 単独 | 2020年1月12日 | International Commission on Radiological Protection (ICRP) | International Commission on Radiological Protection (ICRP) Task Group (TG) 114 - 2nd meeting (Mercure Lisboa Hotel [Lisbon, Portugal]) |
| リスクコミュニケーション研修 | 単独 | 2020年1月29日 | 公益財団法人 若狭 湾エネルギー研究セ ンター | 経済産業省「令和元年度原子力の安全性 向上を担う人材の育成事業」(若狭湾エ ネルギー研究センター [福井県敦賀市]) |
| 放射線との上手なつきあいかた | 単独 | 2020年2月9日 | 日置市 | 令和元年度鹿児島県原子力防災訓練 (旧 赤生木小学校体育館 (日置市避難所) [鹿 児島県南さつま市]) |
| 社会心理学的観点から原子力のコミュニケ ーションを考える | 単独 | 2020年9月30日 | 日本学術会議 | 原子力総合シンポジウム (Online) |
| 震災時にパニック現象はない? : 災害時の 人間心理とリーダーシップ | 単独 | 2020年10月14日 | 「震災対策技術展」 | 第7回「震災対策技術展」大阪 (コング レコンベンションセンター [大阪府大阪 市]) |

研究業績

| 新型コロナウイルス対策の心理的側面：8月の質問紙調査（アンケート調査）から | 単独 | 2020年11月6日 | 関西大学産経新聞社 | 関大×産経 オンラインセミナー「新型コロナウイルスに我々はどう立ち向かうか」（Online） |
|--|---------------|-------------------|--------------------------------|--|
| 社会心理学的観点から原子力のコミュニケーションを考える | 単独 | 2020年11月9日 | 資源エネルギー庁 | 資源エネルギー庁「勉強会」（Online） |
| 感情の時間と理解の時間：ヒトの認識・判断の「不思議」 | 単独 | 2020年11月14日 | 関西大学 | セミナー「関大の知にふれる」（向陽高等学校 [京都府向日市]） |
| 放射性廃棄物処分に係る安全対策と国民理解について：リスク認知論と経済的観点からの考察 | 単独 | 2020年11月16日 | 関西原子力懇談会 | 放射性廃棄物処分にに関する技術動向調査委員会講演会（大阪科学技術センター [大阪府大阪市]） |
| 新型コロナウイルス感染症流行対策の社会的な副作用 | 単独 | 2020年12月19日 | 岸和田市 | 令和2年度学び舎ゼミ（岸和田市立公民館 [大阪府岸和田市]） |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）[基礎研究（C）] | 代表 | 2018年度- 2021年度 | 1,000 (3,900) | 中国における災害時パニックおよび災害時クレーズの発生要因についての研究 |
| 東北電力株式会社「受託研究」 | 代表 | 2020年度 | 1,690 (1,690) | EMFコミュニケーションの動向調査研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| リスク解析学会 [The Society for Risk Analysis] | | | | |
| アジアリスク解析学会（会長） [Asian Regional Organization of the Society for Risk Analysis (President)] | | | | |
| 日本リスク学会 | | | | |
| 日本原子力学会（理事，社会・環境部会長） | | | | |
| 日本災害情報学会 | | | | |
| 日本行動計量学会 | | | | |
| 日本心理学会 | | | | |
| 日本社会心理学会 | | | | |
| 日本グループ・ダイナミックス学会 | | | | |
| 日本応用心理学会 | | | | |
| 日本消費者行動研究学会 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 国際放射線防護委員会，「TG114」連携委員 [International Commission on Radiological Protection (ICRP) Task Group (TG) 114 (Corresponding Member)] | | | | |
| (公益財) JR 西日本あんしん社会財団，「事業審査評価委員会」委員 | | | | |
| (国立研究開発) 情報通信研究機構，「電波ばく露レベルモニタリングに関するリスクコミュニケーション委員会」委員 | | | | |
| (財) 電気安全環境研究所，経済産業省パンフレット「電磁界と健康」監修委員 | | | | |
| (財) 電気安全環境研究所，「情報提供委員会」委員 | | | | |
| (財) 電気安全環境研究所，「電磁界情報センター専門家ネットワーク」メンバー | | | | |
| (財) 大阪科学技術センター，「電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会」委員 | | | | |
| 西日本高速道路株式会社，「CS 推進オピニオンリーダー」委員長 | | | | |
| (NPO 法人) 安全安心科学アカデミー，「放射線安全管理士」資格認証運営委員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| The Society for Risk Analysis (リスク解析学会) より Fellow 賞を受賞 | | | | |

■ 永田尚三

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|----------------------|--------------------------------|---|
| (著書) 市町村の消防行政—小規模消防本部の現状— | 分担執筆 | 3月31日 | ミネルヴァ書房 | 『政策と地域』, 佐野亘・山谷清志監修, 焦徒勉・藤井誠一郎編, pp.35-60, 査読 無し |
| (学術論文) ポスト大阪構想の維新の会—維新の終 焉? 死闘の住民投票を巡る政治過程— | 単著 | 12月 | 政策研究フォーラム | 改革者, pp22-25, 査読無し |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (招待講演) withコロナ時代! 今後の消防・危機管理に ついて! | 単独 | 2020年6月5日 | 株式会社タスキテック | 消防研究教授とベンチャー起業家が語る これからの消防とは, Web 開催 |
| コロナ禍から大阪の地方制度について考え る—危機管理の視点から— | 単独 | 2020年9月27日 | 大阪公共サービス政 策センター | 大阪公共サービス政策センター講演会, ヴィアール大阪 |
| 政府対応のネクストステージ | 単独 | 2020年11月6日 | 関西大学×産経新聞 | 関西大学×産経新聞オンラインセミナー 「危機の時代 新型コロナをどう生きぬく か」, Web 開催 |
| コロナウイルスへの行政の対応と課題 —危機管理行政の視点から— | 単独 | 2020年12月12日 | 神戸大学 | 神戸大学主催オープンセミナー, Web 開 催 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤 研究 (C) | 代表 | 2018年4月 - 2021年3月 | 1100 (4420) | 国民保護行政における専門性の補完体制 の比較研究 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本公共政策学会 (事務局長兼理事) 日本オンブズマン学会 (理事) 日本行政学会 日本政治学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 一般社団法人共生社会支援協議会 (RASA) 理事長 株式会社タスキテック 顧問 高槻市水道事業審議会委員 | | | | |

研究業績

■ 永松伸吾

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|--------------------------------|--|
| (著書) 第1章 地域の防災政策の変容——神戸市 真陽地区の取り組み | 単著 | 2020年4月 | ミネルヴァ書房 | 『政策と地域』佐野亘・山谷清志（監修） 焦従勉・藤井誠一郎（編著）pp.13-34. |
| (学術論文) Natural hazard information and migration across cities: evidence from the anticipated Nankai Trough earth- quake. | 共著 | 2020年3月 | Springer | Population and Environment. 41: p. 452-479. (with Naoi, Michio, Sato, Keiichi, Tanaka, Yozo, and Matsuura, Hiroaki) |
| Estimating the Nankai Trough Megathrust Earthquake's Anticipated Fiscal Impact on Japanese Governments | 共著 | 2020年4月 | Fuji Technology Press | Journal of Disaster Research. 15 (5): p. 633-644. (with Takeshi Miyazaki) |
| 震災後の住居形態の変遷が被災者の主観的 生活評価に及ぼす影響——震災から7年目 の釜石市調査データをもとに—— | 共著 | 2020年6月 | 一般社団法人日本 リスク学会 | 『リスク学研究』30-1, pp.45-60. (静間健 人・元吉忠寛と共著) |
| 首都直下地震後の日本経済の中長期予測と 最悪シナリオ | 単著 | 2020年11月 | 地域安全学会 | 『地域安全学会論文集』37, pp.157-166. |
| 千葉県の高齢者入居施設における令和元年 台風15号への対応と事業継続との関連 | 共著 | 2020年11月 | 地域安全学会 | 『地域安全学会論文集』37, pp.289-298. (大塚理加ほかと共著) |
| 復興とは何か：日本災害復興学会「復興と は何かを考える委員会（2009-2011）」の経 緯と成果 | 単著 | 2020年9月1日 | 日本災害復興学会 | 『日本災害復興学会論文集』15, 11-18. |
| (その他、論考・研究資料等) 災害時緊急避難に関する4つの政策パラダ イム | 単著 | 2020年8月 | 日本災害情報学会 | 『災害情報』18-2: p. 159-164. |
| 臨海工業地帯における津波安全確保計画の 作成：尼崎鉄工団地協同組合での実践 | 共著 | 2020年11月 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会大会予稿集（鈴木進吾 と共著） |
| 社会安全学部が目指す「社会貢献型人材」 の育成とは何か | 単著 | 2020年11月 | 私学経営協会 | 『私学経営』No.549, pp. 28-36. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 低栄養の在宅療養高齢者の心身の状況と災 害時対応における課題 | 共著 | 2020年6月27日 | 日本在宅医療連合学 会 | 第2回日本在宅医療連合学会大会（オン ライン） |
| 首都直下地震後の日本経済の中長期予測と 最悪シナリオ | 単著 | 2020年11月 | 地域安全学会 | 地域安全学会秋季大会（オンライン） |
| 千葉県における令和元年台風15号による地 域高齢者の被災状況 | 共著 | 2020年11月21日 | 日本リスク研究学会 | 日本リスク研究学会大会（オンライン） |
| 臨海工業地帯における津波安全確保計画の 作成：尼崎鉄工団地協同組合での実践 | 共著 | 2020年11月28日 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会大会（オンライン） |
| (招待講演) Plenary Session, 2020 International Forum on Telling Live Lessons from Disasters | 単独 | 2020年1月26日 | 世界災害語り継ぎフ ォーラム2020実行委 員会 | 総括セッション座長 |
| キャッシュフローワークとは何か | 単独 | 2020年8月6日 | REEP 共創基金 | 『コロナ禍を機会とした、雇用による若者 支援を考える』 |
| 来るべき巨大災害に政府・企業はどう備え るべきか？～レジリエンスの観点から～ | 単独 | 2020年11月27日 | 日本経済同友会 | 日本経済同友会防災・震災復興委員会定 例勉強会 |
| 災害時緊急避難に関する4つの政策パラダ イム | 単独 | 2020年11月29日 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会大会（オンライン） |
| 危機対応の国際標準：組織をつなぎ社会を 守る技術 | 単独 | 2020年12月18日 | 防災科学技術研究所 | 令和2年度 第3回デ活シンポジウム【大 規模集客施設における防災力の向上を考 える】 |

社会安全学研究 第11巻

| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
|---|---------------|-------------------|--------------------------------|---|
| (競争的資金) RISTEX SOLVE for SDGs | 協働実施者 | 2020年度～ 2022年度 | 1,458 (11,991) | 災害感応度の高い都市圏の災害連鎖の動的予測を可能にするシナリオ策定(研究代表者:渡辺研司) |
| 科研費基盤B | 分担 | 2018年度～ 2020年度 | 200 (17,160) | 巨大災害を迎え撃つ防災計画体系の構築 |
| 科研費基盤A | 分担 | 2018年度～ 2020年度 | 300 (44,720) | 水害時における避難行動理論の構築 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本公共政策学会, 日本経済学会, 日本計画行政学会, 地域安全学会, 日本自然災害学会, 日本リスク研究学会, 日本災害復興学会, 日本災害情報学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 尼崎鉄工団地産官学連携避難訓練の実施(2020年11月19日) 「新型コロナウイルスの影響により仕事を失った若者支援のためのコンソーシアム」選考委員長 ひょうご震災記念21世紀研究機構・復興庁委託事業「東日本大震災復興の教訓・ノウハウ集の作成に向けた調査分析事業」ワーキンググループリーダー | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 名古屋大学客員教授 関大×産経連続オンラインセミナー 企画および司会担当 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 部門長 (クロスアポイントによる兼任) | | | | |

研 究 業 績

■ 中 村 隆 宏

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------|-----|---|
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本心理学会 正会員 | | | | |
| 日本応用心理学会 正会員 | | | | |
| 日本人間工学会 正会員 | | | | |
| 日本交通心理学会 正会員 | | | | |
| 産業組織心理学会 正会員 | | | | |
| 日本ヒューマンインタフェース学会 正会員 | | | | |
| 土木学会 正会員 | | | | |
| 電子情報通信学会 安全性研究専門委員会専門委員 正会員 | | | | |
| 日本航空医療学会 正会員 | | | | |
| 日本プラント・ヒューマンファクター学会 正会員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| 東京電力パワーグリッド株式会社 リスクアセスメントにおける課題・問題点への改善指導, 他 2020年4月～2021年3月 | | | | |
| 東京電力ホールディングス株式会社安全推進室 研修カリキュラム／研修実施等に関する指導, および評価等 2020年5月～2021年3月 | | | | |
| 一般社団法人大阪自動車学校協会 指定自動車教習所職員講習 講師 2020年6月1日～11月30日 | | | | |
| 大阪府交通安全協会 安全運転管理者講習 講師 2020年4月～2021年3月 | | | | |
| 東京リーガルマインド公共事業本部 『設計・施工管理を行う技術者等に対する安全衛生教育の支援事業』検討会委員 2020年10月～2021年3月 | | | | |
| 中央労働災害防止協会 大阪安全衛生センター 第8回安全衛生専門講座 安全心理コース ヒューマンエラー災害防止対策 講師 2020年11月30日～12月2日 | | | | |
| 電気安全全国連絡委員会 第55回電気関係事業安全セミナー 基調講演「安全人の育成のために管理者は何をすべきか？」@一ツ橋ホール 2020年11月12日 | | | | |
| 電気安全全国連絡委員会 第55回電気関係事業安全セミナー パネルディスカッション・コーディネーター「安全人の育成のための基礎・基本—新たな視点—」@一ツ橋ホール 2020年11月12日 | | | | |
| 安全工学会 第53回安全工学研究発表会 実行委員長 2020年12月3日～4日 WEB開催 | | | | |
| 九州電力安全推進委員会グループ安全推進部会 九電グループ安全大会 講演「新たな時代の職場の安全」2020年12月25日@電気ビル本館地下2階8号会議室 | | | | |

■ 西村 弘

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|---------|----------------------|---|
| (学術論文) 安全学の源流 ― 『安全学索隠』を読む | 単著 | 2020年3月 | 関西大学社会安全学 部 | 『社会安全学研究』第10巻, 2020年3月, 183-199頁 |
| (その他, 論考・研究資料等) 「第3章 オーラル・ヒストリー 2. 関西大 学 西村弘」 | 単著 | 2020年3月 | 公益財団法人公害地 域再生センター | 『令和元年度 公害に係わる「オーラル・ ヒストリー」作成業務報告書』, 24-33頁 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本交通学会 日本海運経済学会 港湾経済学会 交通権学会 公益事業学会 日本物流学会 日本環境会議 (理事) | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 公益財団法人 地域再生センター (通称あおぞら財団) 評議員 高槻市産業振興審議会委員 京都市域タクシー準特定地域協議会会長 広島交通圏タクシー特定地域協議会会長 大阪タクシーセンター 評議員 近畿貸切バス適正化センター 諮問委員会委員長 大阪市域タクシー準特定地域協議会会長 | | | | |

研究業績

■ 林 能 成

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) 実効性のある南海トラフ地震臨時情報のための優先事項 | 単著 | 2020年3月 | 日本地震学会 | 日本地震学会モノグラフ, Vol.6, pp.42-45 (査読無) |
| 1906年台湾嘉義地震の特徴と防災科学上の重要性 | 単著 | 2020年3月 | 国立歴史民俗博物館 | 「総合資料学の創生」事業奨励研究等成果報告書(平成28～30年度), pp.12-17 (査読無) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 1970年代の地球科学におけるグローバル・アプローチ ～故島津康男教授のオーラルヒストリーから～ | 単独 | 2020年7月12日 | 日本地球惑星科学連合 | 日本地球惑星科学連合2020年大会, オンライン |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科学研究費・基盤研究(C) | 代表 | 2019-2021 | 800 (4,290) | 参加型観測データの取得による科学的な地震防災意識の形成策 |
| 科学研究費・基盤研究(B) | 分担 | 2019-2022 | 500 (1,500) | 評価値のばらつきに応じた空間解像度で表示するUPM理論の構築 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本地震学会 歴史地震研究会 American Geophysical Union Seismological Society of America 日本地球惑星科学連合 日本災害情報学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 静岡大学防災総合センター客員教授(2016-) 公益社団法人日本地震学会, 代議員(2006-) 日本金属プレス工業協会, 理事(2016-), 安全環境委員会・委員(2013-) | | | | |

■ 細川 茂雄

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-----------|--------------------------------|--|
| (著書) 機械工学基礎課程 流体力学 | 共著 | 2020年3月 | 朝倉書店 | 富山明男(編)、梶島岳夫、加藤健司、宋明良、高比良裕之、林公祐、細川茂雄(著)、2章及び7章 |
| (学術論文) Pressure and Shear Stress Analysis in a Triangular Tube Bundle Based on Experimental Flow Velocity Field | 共著 | 2020年3月 | Springer | Journal of Brazilian Society of Mechanical Science and Engineering, Vol. 42 Article number 201, Douglas Martins Rocha, Fabio Toshio Kanizawa, Kosuke Hayashi, Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama, Gherhardt Ribatski (査読有) |
| Mass transfer from single carbon-dioxide bubbles in surfactant-electrolyte mixed aqueous solutions in vertical pipes | 共著 | 2020年3月 | Elsevier | International Journal of Multiphase Flow, Vol. 124, Article Number 103207, Yohei Hori, Dieter Bothe, Kosuke Hayashi, Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama (査読有) |
| Characterization of the velocity field external to a tube bundle using spatial filter velocimetry based on variable meshing scheme | 共著 | 2020年4月 | Springer | Flow, Turbulence and Combustion, Vol. 105, pp. 1277-1301, Douglas Martins Rocha, Fabio Toshio Kanizawa, Kosuke Hayashi, Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama, Gherhardt Ribatski (査読有) |
| Condensation Heat Transfer for Downward Flows of Steam-Air Mixture in a Circular Pipe | 共著 | 2020年12月 | 日本混相流学会 | 混相流, Vol. 34, No. 4, pp. 510-519, Michio Murase, Yoichi Utanohara, Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama (査読有) |
| Condensation Heat Transfer for Downward Flows of Superheated Steam-Air Mixture in a Circular Pipe | 共著 | 2020年11月 | Elsevier | Nuclear Engineering Design, Vol. 371, Article Number 110948, Michio Murase, Yoichi Utanohara, Raito Goda, Shigeo Hosokawa, Akio Tomiyama (査読有) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 蛍光を用いたマイクロバブルによる洗浄効果の評価 | 共同 | 2020年8月 | 日本混相流学会 | 混相流シンポジウム2020 |
| マイクロバブルによる洗浄効果の定量評価 | 共同 | 2020年8月 | 日本混相流学会 | 混相流シンポジウム2020 |
| ファインバブルの生成法と洗浄効果 | 単独 | 2020年11月 | 関西大学 | 高槻ミュージックキャンパス公開講座 |
| (招待講演) 時空間フィルタ流速計による抗力評価の試み | 単独 | 2020年1月 | 日本機械学会 | 日本機械学会 RC277研究分科会 |
| 溶存気体からのマイクロバブル生成法 | 単独 | 2020年9月 | | 静電気学会東北・関西・九州支部合同研究会/第435回生存圏シンポジウム |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科学研究費補助金・基盤研究(B) | 代表 | 2019-2021 | 8450 | 変形・変動を伴う流動界面への界面活性剤吸脱着現象の探求とモデル化 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本機械学会 日本原子力学会 日本混相流学会：監事、混相流計測技術国際シンポジウム委員会委員長 日本伝熱学会：関西支部国際交流委員長 | | | | |

研 究 業 績

日本航空宇宙学会

日本流体力学会

自動車技術会

American Institute of Aeronautics and Astronautics (AIAA)

(社会貢献活動)

Experimental Thermal and Fluid Science (Elsevier), Editor

20th International Symposium on Application of Laser and Imaging Techniques to Fluid Mechanics, Advisory Committee Member

ICMF (International Conference on Multiphase Flow) Governing Board Member

一般社団法人 原子力安全推進協会 原子力防災訓練検討委員会 A 会議 委員

日本機械学会動力エネルギーシステム部門運営委員・代議員

日本機械学会流体工学部門運営委員・代議員

日本混相流学会監事

■ 元 吉 忠 寛

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|---------------------|-------------------------------|---|
| (学術論文) 大阪府北部地震発生後の人々の行動 | 単著 | 2020年3月 | 関西大学社会安全学 部 | 社会安全学研究, 10, 17-24. (査読無) |
| 震災後の住居形態の変遷が被災者の主観的 生活評価に及ぼす影響 — 震災から7年 目の釜石市調査データをもとに — | 共著 | 2020年9月 | 日本リスク学会 | リスク学研究, 30, 45-60. 静間健人, 永 松伸吾, 元吉忠寛. (査読有) |
| (その他、論考・研究資料等) 気候変動と計画避難 | 単著 | 2020年1月 | 消防防災科学センタ ー | 消防防災の科学, 139, 4-6. |
| 災害に強い地域コミュニティを築くために | 単著 | 2020年8月 | 株式会社不動産流通 研究所 | 月間不動産流通, 459, 8-9. |
| 新型コロナウイルスと人々の心理 | 単著 | 2020年8月 | 京都府八幡市役所 | 広報やわた, 685, 4. |
| 災害心理学から見た医療従事者に求められる 対策 | 単著 | 2020年9月 | 全国保険医団体連合 会 | 月刊保団連, 1329, 10-15. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 避難所の快適性と避難行動の関連 | 単独 | 2020年1月24日 | 関西大学先端科学技 術推進機構 | 第24回関西大学先端科学技術研究シンポ ジウム, 関西大学 |
| 福島県に対する不安はリスクコミュニケー ションによって低減できるのか? | 単独 | 2020年9月8日 ~11月2日 | 日本心理学会 | 日本心理学会第84回大会, オンライン |
| リスク教育と災害自己効力感の涵養 | 単独 | 2020年9月12日 | 日本パーソナリティ 心理学会 | 日本パーソナリティ心理学会第29回大 会, オンライン |
| 緊急事態宣言下における人々の心理的影響 | 単独 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回年次大会, オンラ イン |
| 2020年8月における新型コロナウイルス感 染症流行への人々の反応 | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回年次大会, オンラ イン |
| 新型コロナウイルス感染症流行にともなう 新常态への人々の対応 | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回年次大会, オンラ イン |
| (招待講演) 災害多発時代の到来と人々の心理 | 単独 | 2020年1月16日 | 日本木造住宅耐震補 強事業者協同組合 | 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合第 22回全国大会, 東京国際フォーラムホー ル |
| 災害時声かけ人材による地域防災力の向上 | 単独 | 2020年1月17日 | 京都府危機管理部 | 災害時声かけ人材養成研修(南丹広域振 興局), 南丹広域振興局 |
| 地震に備えよう — 落ち着いて行動するた めに — | 単独 | 2020年1月18日 | 枚方市立長尾西中学 校 | 枚方市立長尾西中学校防災講演会, 枚方 市立長尾西中学校 |
| 災害時声かけ人材による地域防災力の向上 | 単独 | 2020年1月25日 | 京都府危機管理部 | 災害時声かけ人材養成研修(山城広域振 興局), 宇治産業会館 |
| 災害多発時代における避難について考える | 単独 | 2020年2月18日 | 愛媛県防災危機管理 課・消防防災科学セ ンター | 令和元年度愛媛県防災啓発研修, 愛媛県 庁 |
| 人々の不安はどうして高まるのか? | 共同 | 2020年4月28日 | 関西大学社会安全学 部・産経新聞 | 新型コロナが突き付けたクライシス第2 回オンラインセミナー「緊急事態宣言 試される日本社会」, オンライン |
| 緊急事態と向き合う心理学 | 単独 | 2020年9月18日 | 関西生産性本部 | 2020年度賛助会員集会「KPCフォー ラム」第1回例会, 中之島センタービル, オンライン |
| With コロナ社会での避難を考えよう | 単独 | 2020年9月26日 | 吹田市千三地区公民 館 | 千三地区公民館講座, 千三地区公民館 |
| 新しい生活様式に対する意識調査結果から 見える傾向について | 単独 | 2020年10月9日 | 中央電気倶楽部 | 中央電気倶楽部定例午さん会講演, 中央 電気倶楽部 |
| 災害自己効力感を育む学校防災教育 | 単独 | 2020年11月26日 | 兵庫県丹波教育事務 所 | 令和2年度第2回丹波地区防災教育研修 会, 丹波篠山市立四季の森生涯学習セン ター |

研 究 業 績

| 被災後のストレスを軽減するために ―こ ころの防災を考える― | 単独 | 2020年11月27日 | 関西大学 | 関西大学防災 Day2020特別講演会, オン ライン |
|--------------------------------------|---------------|-------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究 (C) | 代表 | 2020～2023年度 | 1,300千円 (4,420千円) | 避難行動を促進するためのレジリエンス 防災の提案 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本心理学会, 東日本大震災復興支援特別委員会委員 | | | | |
| 日本教育心理学会 | | | | |
| 日本グループ・ダイナミクス学会 | | | | |
| 日本社会心理学会 | | | | |
| 日本リスク学会 | | | | |
| Society for Risk Analysis | | | | |
| American Psychological Association | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 兵庫県, 学校防災アドバイザー | | | | |
| 枚方市立西長尾小学校, 学校運営協議会委員 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| 大阪教育大学学校安全推進センター共同研究員 | | | | |
| 放送大学非常勤講師 | | | | |

■ 山 川 栄 樹

| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
|--|-------|-------------|--|---------------------------------|
| (学会発表) 大津市南部の水田における2種のカブトエビの共存と競争 | 単独 | 2020年12月20日 | 滋賀県立琵琶湖博物館・近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会共催 | 第11回琵琶湖地域の水田生物研究会, オンライン開催 |
| (招待講演) 数理計画を用いた災害対策について | 単独 | 2020年10月15日 | エグジビション テクノロジーズ 株式会社 | 第7回「震災対策技術展」大阪, コングレコンベンションセンター |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本甲殻類学会 日本陸水学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会 システム制御情報学会 | | | | |

研究業績

■ 山崎 栄一

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|---------------------|---|
| (著書) 民事陪審裁判が日本を変える 沖縄に民事 陪審裁判があった時代からの考察 | 分担執筆 | 2020年5月 | 日本評論社 | 陪審裁判を考える会編 山崎栄一担当部分「第Ⅱ部 行政訴訟における市民が参加するための課題」152～157頁 |
| (学術論文) ニュージーランドにおける被災者支援と個人 情報の共有 | 単著 | 2020年10月 | 同志社法学会 | 同志社法学 417号(72巻7号) 983～1018頁 |
| (その他、論考・研究資料等) | | | | |
| 第11回 一般原則 — 法令不遡及の原則 その2 | 単著 | 2020年1月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年1月号 64～65頁 |
| 第12回 一般原則 — その他の一般原則 | 単著 | 2020年2月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年2月号 64～65頁 |
| 第13回 行政組織法 その1 行政主体と 行政機関 | 単著 | 2020年3月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年3月号 68～69頁 |
| 被災者総合支援法・要綱案— 解説ならび に論点 | 単著 | 2020年3月 | 関西学院大学災害復興 制度研究所 | 災害復興研究 Vol.11 9～58頁 |
| 図書 千葉実『自治体災害対策の基礎』有 斐閣(2019年)— 災害対策における自治 体政策法務の鳥瞰図 | 単著 | 2020年3月 | 日本災害復興学会 | 復興 23号 59頁 |
| 第14回 行政組織法 その2 行政機関の 種類 | 単著 | 2020年4月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年4月号 66～67頁 |
| 第15回 行政組織法 その3 権限の委 任・代理など | 単著 | 2020年5月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年5月号 60～62頁 |
| 資料紹介 図書館のための災害復興法学入 門 新しい防災教育と生活再建への知識 | 単著 | 2020年5月 | 専門図書館協議会 | 専門図書館 No.300 59～60頁 |
| 第16回 行政組織法 その4 国-地方公 共団体の役割と関係 | 単著 | 2020年6月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年6月号 62～65頁 |
| 第17回 消防と情報 その1 行政調査 | 単著 | 2020年7月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年7月号 64～66頁 |
| 第18回 消防と情報 その2 情報提供の 要求 情報収集 | 単著 | 2020年8月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年8月号 60～61頁 |
| 第19回 消防と情報 その3 個人情報保 護に関する法令 | 単著 | 2020年9月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年9月号 58～62頁 |
| 第20回 消防と情報 その4 情報公開・ 公文書管理に関する法令(1) | 単著 | 2020年10月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年10月号 64～65頁 |
| 第21回 消防と情報 その5 情報公開・ 公文書管理に関する法令(2) | 単著 | 2020年11月 | 東京法令出版 | 月刊消防 2020年11月号 60～61頁 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) | | | | |
| パネル討論「『人間復興』の実現に向けて」 | 共同 | 2020年1月12日 | 関西学院大学災害復興 制度研究所 | 関西学院大学災害復興制度研究所 開設 15周年 2020年復興・減災フォーラム 「震度7」が遺したもの～阪神・淡路大震 災25年～ 関西学院会館 レセプション ホール |
| コロナウイルス対策をめぐる公法学からの評 価と課題 | 単独 | 2020年12月12日 | 神戸大学都市安全 研究センター | 第263回 神戸大学 RCUSSオープンゼミナ ール ウェビナーによる開催 |
| (招待講演) | | | | |
| 「被災者支援」 「災害と応急対応」 | 単独 | 2020年1月19日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 府中市文化センター |
| 予防行政と行政法 | 単独 | 2020年2月20日 | 岐阜県 | 岐阜県消防学校 |
| 『最悪シナリオ』はどこにある | 共同 | 2020年4月21日 | 社会安全学部 産経 新聞 | 社会安全学部×産経新聞 『新型コロナ が突き付けたクライシス』(2020年度連続 セミナー：危機の時代(第1回)) ウェ ビナーによる開催 |
| 「行政の災害対策と危機管理」 「行政の災害 救助・応急対策」 | 単独 | 2020年7月12日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール |

| 災害と法 | 単独 | 2020年8月25日 | 大阪府立大学工業高等専門学校 | 大阪府立大学工業高等専門学校 |
|--|-----------|-----------------------|----------------------------|---------------------------------------|
| 「災害法制、被災者の生活再建支援制度」 | 単独 | 2020年9月5日 | 兵庫県 | 令和2年度 淡路地域ひょうごリーダー防災講座 淡路県民局洲本総合庁舎 |
| 「災害法制、被災者の生活再建支援制度」 | 単独 | 2020年9月6日 | 兵庫県 | 令和2年度 西播磨地域ひょうごリーダー防災講座 西播磨県民局西播磨総合庁舎 |
| 災害関連法体系基礎 | 単独 | 2019年9月30日 | 人と防災未来センター | 災害対策専門研修(自治体職員向け)国際健康開発センター |
| 「行政の災害対策と危機管理」「行政の災害救助・応急対策」 | 単独 | 2020年10月4日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 シキボウホール |
| 復旧・復興と被災者支援について | 単独 | 2020年11月5日 | 大分県 大分県防災活動支援センター | 令和2年度 防災士養成研修 大分県総合社会福祉会館 |
| 被災者生活・災害時要援護者対策 | 単独 | 2020年11月14日 | 芦屋市 | 芦屋市防災士養成講座 芦屋市役所 |
| 「行政の災害対策と危機管理」「行政の災害救助・応急対策」 | 単独 | 2020年11月15日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 新見市役所 |
| 被災者の生活支援制度(法制度)・被災者生活・災害時要援護者対策(ワークショップ) | 単独 | 2019年11月21日 | 兵庫県 | 令和2年度 ひょうご防災リーダー講座 兵庫県広域防災センター |
| 「行政の災害対策と危機管理」「行政の災害救助・応急対策」 | 単独 | 2020年11月22日 | 防災士研修センター | 防災士研修講座 エル・おおさか |
| 資金制度・研究費名 | 役割(代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C | 代表 | 2017~2019年(2020年まで延長) | 0 (3,500) | 災害後における支援団体への個人情報提供システムの構築 |
| 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B | 分担 | 2017~2020年 | 300 (11,900) | アジア災害地域のコミュニティ参加型減災社会制度基盤の比較研究 |
| 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C | 分担 | 2017~2019年(2020年まで延長) | 0 (3,600) | 災害復興における多様な連携・協働を推進するシステムの構築に関する研究 |
| 文部科学省科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽) | 分担 | 2020~2021年 | 200 (4,800) | 首都直下地震等大規模災害のセーフティネットとしての準公営住宅の国際比較研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本公法学会 | | | | |
| 日本社会保障法学会 | | | | |
| 日本公共政策学会 | | | | |
| 日本災害復興学会(総務委員会委員長 法制度委員会委員長) | | | | |
| 日本災害情報学会 | | | | |
| 地域安全学会 日本火災学会 | | | | |
| 地区防災計画学会(幹事) | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 総務省消防庁 予防行政のあり方に関する検討会 委員 | | | | |
| 内閣府 令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難に関するサブワーキンググループ 委員 | | | | |
| 内閣府 令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループ 委員 | | | | |
| RASA(地域原子力防災支援協議会) 理事 | | | | |
| NPO法人 障害者自立支援センター ドリームロード 監査 | | | | |
| クライストチャーチ領事事務所 安全連絡対策協議会 オブザーバー | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| マル激トーク・オン・ダイヤモンド 第980回「災害の教訓が被災者支援の法整備に活かされていないことが問題だ」(2020年1月18日)に出演 | | | | |
| テレビ大阪 やさしいニュース 「大阪北部地震から2年 今も残る傷痕」(2020年6月18日)にZoomインタビュー対応 | | | | |
| 博論審査の副査 千葉実『災害対策の核心の実現及び早期完遂等に向けた災害対策法制の体系化並びに法政策の提案』上智大学法学研究科2020年度学位請求論文 | | | | |

研究業績

■ 伊藤大輔

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|--------------------------------|---|
| (著書) 第5章 交通事故時の挙動と受傷メカニズム(2) — 二輪車・自転車乗員 | 分担執筆 | 2020/06 | 名古屋大学出版会 | 交通外傷 — メカニズムから診療まで — , 一杉正仁, 西山慶(編集), 57-68頁 |
| (学術論文) Analysis of kinematic behavior of pedestrians/cyclists in vehicle collisions using impulse | 共著 | 2020年7月 | Taylor & Francis | Traffic Injury Prevention, Vol.21, No 5, pp.335-340, Shinya Murano, Chunyu Kong, Koji Mizuno, Daisuke Ito, Daisuke Nakane, Asei Wakabayashi (査読あり) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 高齢歩行者死亡事故例における歩行者挙動、胸郭変形の解析 | 単独 | 2020年11月24日 | 日本交通科学学会 | 第56回日本交通科学学会学術講演会(オンライン) |
| ドライブレコーダとドライビングシミュレータを用いた四輪車対自転車出会い頭衝突回避のためのドライバ反応の分析 | 共同 | 2020年11月24日 | 日本交通科学学会 | 第56回日本交通科学学会学術講演会(オンライン) |
| 野球ボール衝突による脳変形メカニズムの検討 | 共同 | 2020年12月12日 | 日本機械学会 | 第31回バイオフロンティア講演会(オンライン) |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費補助金・若手研究 | 代表 | 2020～2022年度 | 2,600千円 (4,030千円) | 実事故データ分析に基づく交通弱者保護のための統合安全技術評価方法の構築 |
| 日本学術振興会「基盤研究(C)」及び「若手研究」における独立基盤形成支援(試行) | 代表 | 2020～2022年度 | 2,418千円 (3,000千円) | 実事故データ分析に基づく交通弱者保護のための統合安全技術評価方法の構築 |
| 文部科学省科学研究費補助金・基盤研究B | 分担 | 2019～2021年度 | 100千円 (300千円) | 自動運転に向けた四輪車対自転車事故の統合安全に関する研究 |
| 公益財団法人 立松財団 研究助成 | 代表 | 2019～2020年度 | 1,400千円 (1,5000千円) | 自転車用ヘルメットによる脳傷害軽減メカニズムお解明と軽減効果評価試験法への展開 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本機械学会 自動車技術会 日本交通科学学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 自動車技術会 インパクトバイオメカニクス部門委員会 幹事(2016.04～ 継続中) 自動車技術会 前突分科会 委員(2016.04～ 継続中) 自動車技術会 側突分科会 委員(2016.04～ 継続中) 自動車技術会 歩行者保護分科会 委員(2016.04～ 継続中) 自動車技術会 学術講演会運営委員会 委員(2020.11～ 継続中) | | | | |

■ 岡本 満喜子

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称, 「単著」は最初と最後の頁, 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名, 担当部分の頁, 査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|------------------------|---|
| (その他, 論考・研究資料等) 自動運転に関わる法制度の動向——法改正 を中心として—— | 分担執筆 | 2019年12月27日 | 次世代適性診断サー ビスに関する研究会 | 混在交通課の事業用自動車運転者を取り 巻く環境シナリオ等に関する予備研究 ——運転適性診断をめぐる論点整理—— |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本交通心理学会 日本応用心理学会 日本産業・組織心理学会 日本プラントヒューマンファクター学会 日本交通科学学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 運輸安全委員会 海事部会委員 2017年10月～現在 同 海事専門部会委員 2017年10月～現在 社会状況変化に伴う効果的な情報提供・発信のあり方等検討会委員 2020年11月～現在 | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) (口頭発表) 自動運転時代の過失責任の捉え方 2020年11月9日 シンポジウム「自動運転の普及と事業用自動車ドライバーの運転行動」 機械学会法工学専門会議運営委員, 業務上過失事件裁判例研究会監事 2019年7月～現在 | | | | |

研究業績

■ 奥村 与志弘

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------|----------------------|---|
| (学術論文) Multi-UAV Observation for Tsunami Evacuation Drills | 共著 | 2020年9月7日 | WCEE | Keiji Kon, Yoshihiro Okumura, Yuji Dohi, Proceedings of the 17th World Conference on Earthquake Engineering, 5f-0006, 7p. |
| 日常の徒歩圏内距離と避難場所までの距離感の関係 | 共著 | 2020年11月4日 | 土木学会 | 奥村与志弘, 石川雄規, 山田周斗, 土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.76, No.2, I_1279-I_1284. 査読有 |
| 津波避難時の巨視的群衆行動特性 | 共著 | 2020年11月4日 | 土木学会 | 奥村与志弘, 上大迫弘隆, 土肥裕史, 清野純史, 土木学会論文集B2(海岸工学), Vol.76, No.2, I_1267-I_1272. 査読有 |
| (その他, 論考・研究資料等) 新型コロナウイルス禍に考える避難行動 | 単著 | 2020年3月16日 | 産経新聞社 | 『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム |
| 『どう変わるか』ではなく『どう変えるか』 | 単著 | 2020年6月15日 | 産経新聞社 | 『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム |
| 民間の存在感 さらに大きく | 単著 | 2020年10月19日 | 産経新聞社 | 『産経新聞』夕刊3面, 関大 社会安全学部リレーコラム |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) 様々な要因に着目した大阪府北部地震の被害分布についての考察 | 共著 | 2020年2月21日 | 京都大学防災研究所 | 澤田純男, 奥村与志弘, 浅野晃太, 令和元年度京都大学防災研究所研究発表講演会, P-12, 京都大学宇治キャンパス(京都府・宇治市). |
| 地理学的要因に着目した2018年大阪府北部地震における被害分布考察 | 共著 | 2020年5月23日 | 土木学会 | 浅野晃太, 澤田純男, 奥村与志弘, 2020年度土木学会関西支部年次学術講演会, I-37. |
| 2018年大阪府北部の地震における高槻市・茨木市の建物被害分布と要因に関する地理学的考察 | 共著 | 2020年10月1日 | 土木学会 | 浅野晃太, 奥村与志弘, 澤田純男, 後藤浩之, 第40回土木学会地震工学研究発表会, C-15-1644, オンライン. |
| RANK OF TRIGGER FOR EVACUATION BASED ON REGIONAL CHARACTERISTIC AND TSUNAMI TYPE IN INDONESIA | 共著 | 2020年10月1日 | 土木学会 | Karina A. SUJATMIKO, Yoshihiro OKUMURA, 第40回土木学会地震工学研究発表会, C-11-1660, オンライン. |
| 近畿地方における500kV送電用鉄塔の分布と土砂災害リスクの検討 | 共著 | 2020年11月28日 | 災害情報学会 | 橋富彰吾, 寅屋敷哲也, 中林啓修, 奥村与志弘, 河田恵昭, 日本災害情報学会第22回研究発表大会, B-1-2, オンライン. |
| Tsunami evacuation simulation. A case study of the 2018 Palu Tsunami | 共著 | 2020年12月18日 | 東北大学他 | Karina Aprilia Sujatmiko, 奥村与志弘, 第10回巨大津波災害に関する合同研究集会, オンライン. |
| (招待講演) パネルディスカッション「今、私が伝えたい??こと」コーディネーター | 共同 | 2020年1月11日 | 人と防災未来センター・京都大学防災研究所 | 災害メモリアルアクション KOBE2020, 人と防災未来センター |
| 阪神・淡路大震災25年 防災・減災を再考する | 単独 | 2020年1月24日 | 日立返仁会関西支部 | 第79回関西地区分科会 講演会, 日本盛・酒造通り煉瓦館 |
| 災害時にいのちを守るための行動とは? | 単独 | 2020年1月25日 | 草津市老上西学区矢橋東町内会 | 講演会, 老上西まちづくりセンター |
| 阪神・淡路大震災25年 安全・安心社会に向けた新時代のアプローチ | 単独 | 2020年2月12日 | 兵庫県建築構造技術研究会 | 講演会, 神戸市勤労会館 |
| 災害多発時代を生き抜く | 単独 | 2020年7月7日 | 近畿建設協会・近畿会 | 令和2年度建設事業講演会, ドーンセンター(大阪市) |
| 災害に強く生きる | 単独 | 2020年7月16日 | 田原市教育委員会 | 田原市教育委員会「防災キャンブ事業」特別授業, 田原市立清田小学校 |

| | | | | |
|---|-----------|-------------|----------------------------|--|
| 南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震について—巨大災害多発時代をどう生き抜く— | 単独 | 2020年8月23日 | 兵庫県西播磨県民局 | 令和2年度西播磨地域ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県赤穂郡上郡町 |
| 南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震について—巨大災害多発時代をどう生き抜く— | 単独 | 2020年8月28日 | 兵庫県教育委員会 | 兵庫県教育委員会「学校安全(防災)総合支援事業」特別講演会, 南あわじ市立松帆小学校 |
| 事例に学ぶ 風水害における避難と感染症への備え | 単独 | 2020年10月7日 | ひょうご震災記念21世紀研究機構 | ひょうご講座2020, 兵庫県民会館(神戸市) |
| 南海トラフ巨大地震と内陸直下型地震～発生メカニズムと対策について～ | 単独 | 2020年10月31日 | 芦屋市 | 令和2年度芦屋市防災士養成講座, 芦屋市役所(芦屋市) |
| 国難災害を見据えた企業の役割 | 単独 | 2020年11月26日 | 経営倫理実践研究センター(BERC) | BERC 関西支部・講演, 関西大学梅田キャンパス |
| 福良の未来を考え、今、取り組むべきこと | 単独 | 2020年12月2日 | 南あわじ市立福良小学校 | 南あわじ市立福良小学校職員研修, 南あわじ市立福良小学校 |
| 防災教育に不可欠な教職員の知識と意識 | 単独 | 2020年12月2日 | 南あわじ市立福良小学校 | 南あわじ市立小中学校EARTH員研修, 南あわじ市立福良小学校 |
| 南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震について—巨大災害多発時代をどう生き抜く— | 単独 | 2020年12月5日 | 兵庫県広域防災センター | 令和2年度ひょうご防災リーダー講座, 兵庫県広域防災センター講堂 |
| 福良の津波防災まちづくり | 単独 | 2020年12月13日 | 福良地区防災フェスタ実行委員会 | 津波防災フォーラム2020, 福良地区公民館 |
| 伏見を含む関西圏のコロナ禍と防災・減災 | 単独 | 2020年12月14日 | 伏見の防災を考える会 | 令和2年度伏見連続講座, 伏見区役所 |
| 国難災害(自然災害・パンデミック)の防災と企業の危機管理 | 単独 | 2020年12月16日 | 関西大学梅田キャンパス | 関西大学ビジネスコンプライアンススクール—企業価値を創造するCSR・コンプライアンス経営—, オンライン |
| 阪神・淡路大震災25年 防災・減災を再考する | 単独 | 2020年12月26日 | 南あわじ市教育委員会 | 南あわじ市中学校 防災パートナーシップ事業・防災教育研修会, オンライン |
| 資金制度・研究費名 | 役割(代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 文部科学省科学研究費補助金・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) | 分担 | 2020年～2023年 | 325 (3,600) | インドネシアにおける仮想津波観測実験—海洋レーダ津波防災活用技術の飛躍的発展 |
| 首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト | 分担 | 2017年～2021年 | 0 | 首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ活用に向けた連携体制の構築 |
| 関西大学拠点形成支援経費 | 分担 | 2019年～2020年 | 0 | 大規模地震発生時の燃料供給ネットワーク構築に関する研究 |
| 関西大学教育研究高度化促進費 | 分担 | 2020年～2022年 | 0 (350) | SDGsの達成に資する統一的な防災対策の構築 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本土木学会 | | | | |
| 日本自然災害学会 | | | | |
| 日本災害情報学会 | | | | |
| 日本地震学会 | | | | |
| 地域安全学会 | | | | |
| AGU(アメリカ地球物理学連合) | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) | | | | |
| 1.学会 | | | | |
| 土木学会 地震工学委員会『土木学会地震工学論文集編集小委員会』委員 | | | | |
| 土木学会 海岸工学委員会『津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会』委員, WG1 主査 | | | | |
| 土木学会 国際部門国際センター『留学生グループ』委員 | | | | |
| 日本自然災害学会『学術委員会』委員 | | | | |
| The IUGG Joint Tsunami Commission Member | | | | |
| 2.地方自治体 | | | | |

研 究 業 績

兵庫県 教育委員会『学校安全（防災）総合支援事業』学校防災アドバイザー

南あわじ市『福良地区円卓会議』座長

田原市『愛知県田原市防災会議』委員

田原市 教育委員会『田原校区みんな参加の防災キャンプ実行委員会』アドバイザー

3.その他の委員など

人と防災未来センター『災害メモリアルアクション神戸 実行委員会』委員

ひょうご震災記念21世紀研究機構『南海トラフ地震に備える政策研究』研究会委員

朝日新聞名古屋本社・日本赤十字社『子ども新聞プロジェクト』アドバイザー

NPO 法人 大規模災害対策研究機構 理事

(客員教員・非常勤講師)

愛媛大学 客員准教授

神戸学院大学 現代社会学部 非常勤講師

京都大学 防災研究所 非常勤講師

(報道・取材協力)

R02.03.29：読売新聞「減災 命を守る鐘『聞き慣れぬ音 避難促す』」朝刊29面，取材協力。

R02.08.31：ラジオ大阪「Hit & Hit! あんぜん・あんしん・アンサンプル『長期停電という災害』」(15時台約8分)

R02.09.03：読売テレビ（関西）「関西情報ネット ten.『備え 手軽にできる「防災さんぽ」 身近に潜む水害の危険』16:47～（収録）解説

■ 桑 名 謹 三

| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
|---|-------|-------------|--------------|----------------------------------|
| (学会発表) パンデミック事業中断保険制度の可能性について | 単独 | 2020年10月3日 | 日本公共政策学会 | 関西支部 第13回研究大会 Zoomによるオンライン開催 |
| デジタル時代の国際リスクレジリエンス～保険と協調～ 公共政策と再保険プール | 単独 | 2020年10月12日 | 中曽根康弘世界平和研究所 | 「デジタル技術と経済・金融」研究会 Zoomによるオンライン開催 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本保険学会 日本公共政策学会 日本経済政策学会 環境経済・政策学会 環境法政策学会 環境社会学会 法と経済学会 PL 研究学会 日本私法学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 上智大学大学院地球環境学研究科同窓会役員 | | | | |

研究業績

■ 河野和宏

| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
|--|-----------|-------------|----------------------------|---|
| (学会発表) 敵対的生成ネットワークを用いた映像改ざん領域検出 | 共同 | 2020年3月5日 | 電子情報通信学会 | 電子情報通信学会技術研究報告, EMM2019-122, P107-112, 開催中止, 技報発行あり(大城将健, 河野和宏, 馬場口登)(査読なし) |
| Data Anonymization for Service Strategy Development and Information Recommendation to Users Based on TF-IDF Method | 共同 | 2020年10月24日 | IEICE | International Symposium on Information Theory and its Applications (ISITA) 2020, C05-05, 5 pages, online (K. Kono and N. Babaguchi)(査読あり) |
| インタラクションの表現に着目した防災・減災学習向けVRシステムの開発 | 共同 | 2020年11月20日 | 電子情報通信学会 | 電子情報通信学会技術研究報告, EMM2020-46, P54-57, オンライン(野元颯馬, 河野和宏)(査読なし) |
| 資金制度・研究費名 | 役割(代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費(期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(C) | 代表 | 2018~2020 | 950793 円 (2,300,000 円) | 攻防両視点から学習可能な情報セキュリティ・モラル教育ツールの開発 |
| 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(S) | 連携研究者 | 2016~2020 | 0 円 (0 円) | メディアクローン攻撃を防御するコミュニケーション系 |
| 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究(C) | 分担研究者 | 2018~2021 | 346,281 円 (405,000 円) | 中国における災害時パニックおよび災害時クレーズの発生要因についての研究 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 電子情報通信学会 (IEICE) 情報処理学会 (IPSJ) 地域安全学会 (ISSS) 日本信頼性学会 (REAJ) 公益事業学会 (JSPU) The Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Association for Computing Machinery (ACM) | | | | |
| (社会貢献活動) 電子情報通信学会, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会 (EMM研), 幹事 (2020年4月1日~) 電子情報通信学会, 情報・システムサイエティ和文論文誌編集委員会, 編集委員 (2019年4月1日~) 吹田市個人情報保護審議会委員 (2019年10月~) | | | | |
| (その他業績として記載を希望する事項) 情報処理安全確保支援士 (登録番号: 015391) 関西大学 IT センター副所長 (2020年10月~) | | | | |

■ 小山 倫 史

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|---------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) | | | | |
| GNS を用いた東日本大震災前後の東北地方太平洋側3県の自然災害リスクの分析 | 共著 | 2020年10月 | 日本建設機械施工協会 | 小山倫史, 伊藤和也, 菊本統. 建設機械施工, 2020; 72 (10): 57-63 |
| 自然災害に対する安全性指標 GNS (Gross National Safety for natural disasters) の市町村別板 GNS (GNS-Ver. 2.0) の開発 | 共著 | 2020年10月 | 日本建設機械施工協会 | 伊藤和也, 小山倫史, 菊本統. 建設機械施工, 2020; 72 (10): 51-56 |
| (その他, 論考・研究資料等) | | | | |
| アンコール遺跡バイヨン寺院の安定化と修復・保存のための地盤工学 | 単著 | 2020年8月 | 土木学会 | 土木学会誌, 2020; 105 (8): 38-39 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表) | | | | |
| OSV を用いた住民参加型の斜面計測・モニタリングシステムの構築とその運用方法の検討-福井市高須町の事例 | 共著 | 2020年7月21~23日 | 地盤工学会 | 小山倫史, 近藤誠司, 芥川真一, 小林泰三, 佐藤毅, 中田勝行, 下嶋一幸. 第55地盤工学研究発表会講演概要集, paper ID: DS-9-07. |
| アンコールバイヨン寺院中央塔基壇の観測による降雨の浸透特性 | 共著 | 2020年7月21~23日 | 地盤工学会 | 岩崎好規, 福田光治, 小山倫史. 第55地盤工学研究発表会講演概要集, paper ID: DS-3-07. |
| 西日本における市区町村単位の自然災害リスク指標 GNS の算出 | 共著 | 2020年9月7~9日 | 土木学会 | 梶谷婆和, 小山倫史, 伊藤和也, 菊本統. 土木学会第75回年次学術講演会講演概要集, 2020, paper ID: IV-172. |
| 東日本における市区町村単位の自然災害リスク指標 GNS の算出 | 共著 | 2020年9月7~9日 | 土木学会 | 友岡亮太郎, 藤馬怜央, 伊藤和也, 梶谷婆和, 小山倫史, 菊本統. 土木学会第75回年次学術講演会講演概要集, paper ID: IV-173. |
| 住民の防災意識および地域防災力の向上のための住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築 — 福井市高須町の事例 | 共著 | 2020年11月27日 | 地盤工学会関西支部 | 小山倫史, 近藤誠司, 小林泰三, 芥川真一, 佐藤毅, 中田勝行, 下嶋一幸. Kansai Geo-Symposium 2020 — 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム — 論文集, pp.245-250 (査読有り) |
| 豪雨時における住民の早期避難行動促進のための土砂災害に関わる防災情報の伝達方法に関する検討 — 京都府船井郡京丹波町での取り組み | 共著 | 2020年11月27日 | 地盤工学会関西支部 | 小山倫史, 近藤誠司, 原澤恒, 西村公貴. Kansai Geo-Symposium 2020 — 地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム — 論文集, pp.251-256 (査読有り) |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位・千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 国土交通省近畿地方整備局 新都市社会技術融合創造研究会 | 分担 | 2019~2021年 | 400 (15,000) | 土壌水分量を考慮した斜面監視システムの実装 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 土木学会 | | | | |
| 地盤工学会 | | | | |
| 資源・素材学会 | | | | |
| 岩の力学連合会 | | | | |
| 地下水学会 | | | | |
| 地すべり学会 | | | | |
| 計算工学会 | | | | |
| 地域安全学会 | | | | |
| 文化財保存科学会 | | | | |
| (社会貢献活動) | | | | |
| 土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会, 幹事長 (部会2) | | | | |

研 究 業 績

| |
|---|
| <p>土木学会, 岩盤力学委員会 岩盤動力学に関する研究小委員会, 委員</p> <p>土木学会, 岩盤力学委員会 論文小委員会, 委員</p> <p>土木学会, 岩盤力学委員会 ILC 施設計画評価小委員会, 委員</p> <p>土木学会, 土木学会論文集 F 2 分冊編集小委員会兼地下空間シンポジウム表彰委員会, 委員長</p> <p>土木学会, 地下空間研究委員会 維持管理小委員会, 委員</p> <p>国際地盤工学会アジア地域技術委員会 ATC19 (Geo-Engineering for Conservation of Cultural Heritage and Historical Site in Asia), 委員</p> <p>地盤工学会, Soils and Foundations, 幹事委員</p> <p>地盤工学会関西支部, 斜面災害のリスク低減に関する研究委員会, 利活用・教育部会 部長</p> <p>International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Discontinuous Deformation Analysis (DDA Commission), member</p> <p>International Society for Rock Mechanics (ISRM), Commission on Grouting, member</p> <p>岩の力学連合会, 電子ジャーナル委員会, 委員</p> <p>岩の力学連合会, JSRM 賞選考委員会, 委員</p> <p>国土交通省近畿地方整備局, 道路防災ドクター</p> <p>国土交通省近畿地方整備局, トンネルアドバイザー</p> <p>国土交通省近畿地方整備局, 技術スペシャリスト会議 トンネル技術研究会, 委員</p> <p>近畿建設協会, 土木と AI 検討委員会, 副委員長</p> <p>西日本高速道路株式会社, 関西支社技術アドバイザー</p> <p>阪神高速道路技術センター, 土木構造物点検診断技術者資格認定委員会, 委員</p> <p>阪神高速道路技術センター, 土工構造物検討会, 委員</p> <p>原子力発電環境整備機構 (NUMO), 技術アドバイザー委員会, 委員</p> <p>原子力環境整備促進・資金管理センター, 検討委員会 分野別委員会 (地質環境), 委員</p> <p>猪名川町教育委員会, 猪名川町多田銀銅山遺跡保存活用委員会, 委員</p> |
| <p>(その他業績として記載を希望する事項)</p> <p>【記事掲載】「気象予測 データ評価し対策に」, 産経新聞, 2020年11月16日, 夕刊 4面「関大 社会安全学部 リレーコラム」</p> <p>【記事掲載】「コロナ時代の「想定外」災害に備え」, 産経新聞, 2020年7月20日, 夕刊 3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」</p> <p>【記事掲載】「土砂 住民被害「高リスク」解析」「津奈木町, 芦北町」「関大 熊本の自治体比較」, 読売新聞, 2020年7月10日, 夕刊 8面</p> <p>【記事掲載】「【クローズアップ】 関西大・立命館大・OSV 研究会・アサノ大成基礎エンジニアリング, 住民自ら土砂災害リスク見える化, 土木工学の計測技術と社会的見地を融合」, 建設通信新聞, 2020年7月6日, 12面</p> <p>【記事掲載】「複合的に生じる災害に備えを」, 産経新聞, 2020年4月20日, 夕刊 3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」</p> <p>【記事掲載】「家具固定し「窒息・圧死」防止」, 産経新聞, 2020年1月20日, 夕刊 3面「関大 社会安全学部 リレーコラム」</p> <p>【テレビ番組】「福井市の高須集落における土砂災害対策プロジェクトについて～大学と連携して住民独自で避難基準作成」, NHK「おはよう日本」, 2020年7月6日, 4時30分～.</p> <p>【テレビ番組】「福井市の高須集落における土砂災害対策プロジェクトについて～大学と連携して住民独自で避難基準作成」, NHK 福井放送局「ニュースザウルスふくい」, 2020年6月17日, 18時10分～</p> <p>【ラジオ番組】「観測機器を設置して集落を自分たちで守ろうという地域防災の動きについて, 福井市高須町での取り組み」, NHK ラジオ第1「NHK ジャーナル」, 地域発リポート, 2020年6月16日, 22時～.</p> |

■ 近藤 誠 司

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|------------|------------------|---|
| (学術論文) われわれはなぜ防災教育をおこなうのか ——倫理の虚構性を超克するための理論的 検討—— | 単著 | 2020年9月 | 防災教育学会 | 防災教育学研究第1巻第1号 pp.31-41. (近藤誠司) 査読有 |
| “360度の学び合い”を重視した持続的防災 学習の検討 ——和歌山県広川町・こども 梧桐ガイドプロジェクト—— | 共著 | 2020年9月 | 防災教育学会 | 防災教育学研究第1巻第1号 pp.67-79. (近藤誠司・石原凌駕) 査読有 |
| コロナ禍における社会的なつながりの再考 ——地区防災活動の中に見出された関係性 の変容をめぐる基礎的考察—— | 単著 | 2020年12月 | 地区防災計画学会 | 地区防災計画学会誌第19号 (近藤誠司) 査読有 |
| COVID-19 インフォデミックの諸相 | 単著 | 2021年3月 | 関西大学社会安全学 部 | 社会安全学研究第11巻 (近藤誠司) 査読 有 |
| コロナ禍における聴覚障害者の防災意識調 査——滋賀県草津市におけるアンケートから —— | 共著 | 2021年3月 | 関西大学社会安全 学部 | 社会安全学研究第11巻 (近藤誠司・中野 充博) 査読有 |
| コロナ禍における在外邦人の実態調査 ——関西大学校友会海外支部員を対象とし たアンケート—— | 共著 | 2021年3月 | 関西大学社会安全 学部 | 社会安全学研究第11巻 (近藤誠司・土田 昭司) 査読有 |
| コロナ禍の情報空間に関する基礎的考察 | 単著 | 2021年3月 | 関西大学社会安全 学部 | 社会安全学研究第11巻 (近藤誠司) 査読 有 |
| (その他、論考・研究資料等) | | | | |
| 調査報告: COVID-19 新聞記事にみる情報 トレンド分析 -1- | 単著 | 2020年5月3日 | 関西大学社会安全 学部 | 関西大学社会安全学部 HP・災害事故調 査「COVID-19 新型コロナウイルス感染症 関連」(近藤誠司) |
| 調査報告: COVID-19 新聞記事にみる情報 トレンド分析 -2- | 単著 | 2020年5月4日 | 関西大学社会安全 学部 | 関西大学社会安全学部 HP・災害事故調 査「COVID-19 新型コロナウイルス感染症 関連」(近藤誠司) |
| 調査報告: COVID-19 新聞記事にみる情報 トレンド分析 -3- | 単著 | 2020年5月5日 | 関西大学社会安全 学部 | 関西大学社会安全学部 HP・災害事故調 査「COVID-19 新型コロナウイルス感染症 関連」(近藤誠司) |
| 調査報告: COVID-19 新聞記事にみる情報 トレンド分析 -4- | 単著 | 2020年5月5日 | 関西大学社会安全 学部 | 関西大学社会安全学部 HP・災害事故調 査「COVID-19 新型コロナウイルス感染症 関連」(近藤誠司) |
| 調査報告: COVID-19 新聞記事にみる情報 トレンド分析 -5- | 単著 | 2020年5月6日 | 関西大学社会安全 学部 | 関西大学社会安全学部 HP・災害事故調 査「COVID-19 新型コロナウイルス感染症 関連」(近藤誠司) |
| 調査報告: COVID-19 新聞記事にみる情報 トレンド分析 -6- | 単著 | 2020年5月22日 | 関西大学社会安全 学部 | 関西大学社会安全学部 HP・災害事故調 査「COVID-19 新型コロナウイルス感染症 関連」(近藤誠司) |
| 飛翔する社会安全学のアクションリサーチ | 単著 | 2020年8月30日 | 関西大学社会安全 学部 | 関西大学社会安全学部・大学院社会安全 研究科の10年 (2010-2020) p.33.(近藤誠 司) |
| 関西大学「専門演習・卒業研究: 災害ジャー ナリズム論」(3~4 年次生対象) 実践報 告 | 単著 | 2020年12月 | 雷音学術出版 | 遠隔でつくる人文社会学知 ——2020年 度前期の授業実践報告——, 大嶋えり子・ 小泉勇人・茂木謙之介編, p.127. |
| 災害ジャーナリズム論の新機軸 | 単著 | 2020年12月 | 土木学会 | 土木学会誌12月号・特集・災害情報の新 たなステージへ——住民とともに災害に立 ち向かうために—— |
| 校内放送を活用した防災学習支援 | 単著 | 2020年 | 関西大学地域連携セ ンター | 関西大学地域連携事例集 vol.5 |
| ケーブルテレビによる防災情報の発信 | 単著 | 2020年 | 関西大学地域連携セ ンター | 関西大学地域連携事例集 vol.5 |
| 福島だるま交流プロジェクト | 単著 | 2020年 | 関西大学地域連携セ ンター | 関西大学地域連携事例集 vol.5 |

研 究 業 績

| TEAM 防災ジャパンサイト リレー | 単著 | 2020年 | 内閣府防災 TEAM 防災ジャパン運営事務局 | TEAM 防災ジャパンサイト リレー |
|---|-------|----------------|------------------------|---|
| こころの声に耳を傾けてみよう | 単著 | 2020年 | Studio AYA | 今村彩子監督「きこえなかったあの日」映画パンフレット |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| 高齢者の防災意識に対するメディア効果 — 京丹波CATVにおける多重的な災害情報発信事例を通して — | 共同 | 2020年3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（趙 鎮科・近藤誠司）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| 地区防災計画策定事業による住民の意識と行動の変容 — 草津市山田小学校区 4年目の実態調査 — | 共同 | 2020年3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（近藤誠司・柴田悠馬）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| 山間集落における地域防災力向上策の検討 — 福井市高須集落におけるアクションリサーチ — | 共同 | 2020年3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（近藤誠司・谷岡 茜・廣瀬友乃・濱崎采如・島本航太・小山倫史）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| 神戸市長田区真陽地区“トラメガ作戦”の実態調査 — 津波避難ルール浸透度の分析 — | 共同 | 2020年3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（近藤誠司・西田一貴）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| 要配慮者の個別対応計画策定プロジェクトの進展 — 兵庫県尼崎市における“きがーちゃん”モデルの提唱 — | 共同 | 2020年3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（近藤誠司・長谷川夏帆・宮崎愛子・濱崎采如・山下紗也加）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| 計画的に、計画しない — 防災と復興におけるベターメントに関する基礎的考察 — | 単独 | 2020年3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（近藤誠司）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| 津波避難アナウンスメントに関する研究 — 情報の受信者と発信者の比較分析 — | 共同 | 2020年3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（福本晋悟・近藤誠司）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| 2020年8月における新型コロナウイルス感染症流行への人々の反応 | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回年次大会（土田昭司・元吉忠寛、近藤誠司、静間健人、浦山郁、小村佳代）、オンライン |
| 新型コロナウイルス感染症流行にともなう海外在住日本人の状況 | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回年次大会（近藤誠司・土田昭司）、オンライン |
| 住民の防災意識および地域防災力の向上のための住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築 — 福井市高須町の事例 | 共同 | 2020年11月27日 | 地盤工学会 | Kansai Geosymposium2020（小山倫史・近藤誠司・小林泰三・芥川真一・佐藤毅・中田勝行・下嶋一幸） |
| 津波避難キャスターコメントに関する考察 — 非報道従事者対象の定量的調査から — | 共同 | 2020年11月28-29日 | 災害情報学会 | 第22回大会（福本晋悟・近藤誠司）予稿集 pp.112-113. |
| 防災教育学領域におけるアクション・リサーチ — BACEVモデルからの考察 —（招待講演） | 単独 | 2020年12月6日 | 防災教育学会 | 第1回大会（近藤誠司）神戸常盤大学リモート開催予稿集 pp.4-5. |
| 阪神・淡路大震災25年 いのちのラジオ | 単独 | 2020年1月13日 | AMラジオ災害問題協議会 | 阪神・淡路大震災25年 AMラジオ災害問題協議会シンポジウム、KBS京都ホール |
| 学校防災の要諦～インクルーシブ防災～ | 単独 | 2020年1月16日 | 神戸市立真陽小学校 | 令和元年度第2回防災教育担当者研修会、真陽小学校 |
| マンション防災 防災意識に関する アンケート調査・集計報告 | 単独 | 2020年1月17日 | 藤和コアティ高槻ハイタウン | 藤和コアティ高槻ハイタウン理事会、コアティ集会室 |
| 災害報道にどのように取り組むか | 単独 | 2020年1月25日 | 日本放送労働組合中国支部 | NIPPORO フォーラム、NHK 広島放送局 |
| みんなのぼうさい～一人ひとりの“いのち”に寄り添う～ | 単独 | 2020年2月1日 | 堺エコロジー大学 | 堺エコロジー大学専門講座講演会、関西大学人間健康学部 |
| みんなの防災ひとりひとりが輝く、防災と福祉の連携策 | 単独 | 2020年2月3日 | 尼崎市ケアマネジャー協会 | 尼崎市・防災×福祉セミナー、中央北生涯学習プラザ |
| みんなで作る自慢の地区防災計画！ | 単独 | 2020年2月9日 | 滋賀県・内閣府 | 「2019年度地域の防災力向上の観点から仙台防災枠組の実施に関する調査業務」地区防災計画策定支援事業、滋賀県湖南市（近江台区自治会館） |
| みんなで作る自慢の地区防災計画！ | 単独 | 2020年2月9日 | 滋賀県・内閣府 | 「2019年度地域の防災力向上の観点から仙台防災枠組の実施に関する調査業務」地区防災計画策定支援事業、滋賀県湖南市（宮の森集会所） |

社会安全学研究 第11巻

| 南海トラフ巨大地震 複合災害のイメージ | 単独 | 2020年2月10日 | 尼崎市災害対策課 | 令和元年度尼崎市行政職員防災研修, 尼崎市防災センター |
|--|---------------|-------------------|--------------------------------|---|
| CATVにおける 防災コンテンツの共同制作 ～地域防災力向上プロジェクト～ | 単独 | 2020年2月25日 | 京丹波町 | 令和元年度 1まち1キャンパス事業 報告会, 京丹波町議場 |
| インフォデミックの概況～ COVID-19 infodemic ～ | 単独 | 2020年4月28日 | 関西大学・産経新聞 社 | 関西大学オンラインセミナー「新型コロナ ナが突き付けたクライシス」, オンライン |
| 濱口梧陵生誕200年記念交流シンポジウム (ファシリテーター) | 単独 | 2020年6月14日 | 稲むらの火の館関西 大学・龍谷大学 | 濱口梧陵生誕200年記念事業, オンライン |
| 災害情報における失敗学—— 知と信の乖離 を克服する —— | 単独 | 2020年7月18日 | 失敗学会 | 第17回失敗学会 (大阪), オンライン |
| ハザードマップを 活用しましょう | 共同 | 2020年8月8日 | 京丹波町質美地区振 興会 | 質美地域防災交流会, 京丹波町質美地区 振興センター |
| 災害にも負けないまちをつくる | 単独 | 2020年8月12日 | 草津市山田小学校区 まちづくり協議会 | 2020年度理事会・地区防災計画策定事業 成果報告, 草津市山田小学校区まちづく りセンター |
| 想像力・実践力・近助と遠助 | 単独 | 2020年8月27日 | 高槻市介護事業者協 議会防災対策部会 | 高槻市介護事業者協議会防災対策部会防 災研修会, オンライン |
| みんなのぼうさい～いまこそインクルーシ ブ防災を～ | 単独 | 2020年8月28日 | 毎日新聞 | ぼうさい甲子園グランプリ受賞 記念講 演シンポジウム, 毎日新聞文化センター |
| 防災教育の輪を広げる～学び合い, 学び愛 ～ | 単独 | 2020年9月15日 | 高槻市教育センター | 学校安全研修 (兼 幼稚園・認定こども園 研修), 高槻市教育センター |
| “防活” しよう! | 単独 | 2020年10月16日 | 高槻市立日吉台小学 校 | 特別交流授業, 日吉台小学校体育館 |
| 情報共有訓練講評 | 単独 | 2020年11月1日 | 草津市山田小学校区 まちづくり協議会 | 2020年度実動訓練, 草津市山田小学校区 まちづくりセンター |
| みんなのぼうさい 災害多発時代を共に乗 り切ろう! | 単独 | 2020年11月5日 | 尼崎市立花地域振興 センター | ひかり学級第2回インクルーシブ講座, 立花南生涯学習プラザ |
| 命を守る災害情報の伝え方 | 単独 | 2020年11月17日 | 尼崎市・気仙沼市 | 東日本大震災10年フォーラム「学び合お う, 防災の知恵～宮城県気仙沼市の経験 から～」, オンライン |
| クライシス広報 ～情報は, 共有財～ | 単独 | 2020年12月2日 | 関西大学 | 関西大学・ビジネスコンプライアンスス クール, オンライン |
| みんなでつくる自慢の地区防災計画! | 単独 | 2020年12月12日 | NHK 大津・滋賀防 災士会 | 2020年度日本防災士会滋賀県支部 (滋賀 県防災士会) とNHK 大津放送局との共 同研究会, 明日都浜大津+ オンライン併 用 |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) | | | | |
| 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C)・17K00471 | 代表 | 2017年度～ 2020年度 | 910千円 | 地域防災活動を推進するローカルメディ アの創発 |
| 関西大学 特別奨励研究 | 代表 | 2020年度 | 100千円 | 防災ウェブ教材の制作手法の開発 |
| 尼崎市支え合いを育むむづくり支援事業 | 代表 | 2020年度 | 240千円 | 難病患者・障害児者の防災力向上プロジ ェクト |
| 関西大学 2020年度 地域連携活動に対す る補助事業 | 代表 | 2020年度 | 100千円 | ケーブルテレビを活用したリスク情報の共 有プロジェクト ～京丹波府京丹波町～ |
| 日本災害復興学会研究会助成 | 代表 | 2020年度 | 300千円 | 復興ワードマップ研究会 |
| 2020年度関西大学教育研究緊急支援経費 | 共同 | 2020年度 | 1,824千円 | 「新型コロナウイルス感染症とその対策に かかる社会における情報流通の問題点と 市民の行動」研究代表者: 土田昭司 (社 会安全学部) |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) | | | | |
| 日本自然災害学会 | | | | |
| 日本災害情報学会 (編集委員・編集幹事) | | | | |
| 日本災害復興学会 (編集委員) | | | | |
| 地区防災計画学会 (幹事) | | | | |

研 究 業 績

| |
|---|
| <p>日本安全教育学会 日本グループ・ダイナミックス学会 日本質的心理学会 社会貢献学会（理事） 防災教育学会</p> |
| <p>（その他業績として記載を希望する事項）</p> <p>NHK 広島放送局 「避難よびかけアナウンスメント」検討プロジェクト 事業監修 NHK 大阪放送局 「関西ラジオワイド・防災コラム」レギュラーコメンテーター NHK 神戸放送局・阪神・淡路大震災25年 「9131 ―絵がつなぐあの日とそれから―」事業監修 滋賀FMラジオ協議会 「防災ラジオ滋賀2020 ～大地震でもラジオを止めるな～」コメンテーター（2020.2.11） NHK 広島放送局 「ラジオ特番避難の選択肢を増やせ ～新型コロナウイルス禍の災害に備える～」コメンテーター（2020.7.3） NHK 静岡放送局 「ラジオ特番 BOSAI ニュージェネレーション ～人を逃がすには、命を守るには～」コメンテーター（2020.8.29） 神戸学院大学現代社会学部・学際教育機構 非常勤講師 兵庫県「災害メモリアルアクション」企画委員 京都大学防災研究所・地震予知研究センター運営協議会委員 復興ワードマップ／復興パラダイム研究会主宰・KOBЕ虹会主宰・関西なまずの会サポーター・ 高槻日吉台コミュニティ防災アドバイザー・草津市山田まちづくり協議会防災アドバイザー 堺市西除川等洪水避難に関する意見聴取会・委員 阪神・淡路大震災25年 117 BOX・いいなの箱 展 出品</p> |
| <p>（受賞）</p> <p>令和元年度「1. 17防災未来賞・ほうさい甲子園」大学部門・グランプリ受賞 ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）金賞（教育機関部門） 高槻ライオンズクラブ顕彰 関西大学学長奨励表彰 阪神・淡路大震災25年「9131 ―絵がつなぐあの日とそれからNHK」NHK 事業センター長特賞 令和元年度「地盤工学会関西支部・社会貢献賞」（小山倫史・近藤誠司）</p> |

■ 城下英行

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------------|--------------------------------|---|
| (学術論文) 大阪における防災情報コンテンツの開発と 防災教育の実践——ハザードマップアプリ における避難所確認インタフェースの開発 と評価—— | 共著 | 2020年3月 | 関西大学なにわ大阪 研究センター | なにわ大阪研究, 第2号, 共著論文(堀 雅洋, 城下英行, 林武文), pp.33-46(査 読無し) |
| 地震学のオープンサイエンス——地震観測 所のサイエンスミュージアム・プロジェク トをめぐって | 共著 | 2020年12月 | 日本グループ・ダイ ナミックス学会 | 実験社会心理学研究, 共著論文(矢守克 也・飯尾能久・城下英行)(査読有り) |
| (その他, 論考・研究資料等) COVID-19 Helpline Services in India | 共著 | 2020年11月 | Avoidable Deaths Network | Co-authored report (Ray-Bennett, N. S., A., Khawaja, S., Shiroshita, H., Chowdhury, S., Nelson, E., Kalta, N., Bano, M., Nayak, B. M., Gupta, N., Kaur, M., Shelly, J., Barik, S., Pradhan, K., Mishra, R., Mishra P., Anjali, K. Rathi, N., K. K. A., K. M.) |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| (学会発表(自発表のみ)) 防災教育の3つのアプローチ | 単独 | 2020年10月11日 | 日本安全教育学会 | 日本安全教育学会第21回静岡大会, オン ライン |
| 「脆弱性」を再考する | 単独 | 2020年12月5日 | 科学技術社会論学会 | 科学技術社会論学会第19回年次研究大 会, オンライン |
| (招待講演(講演会・研修会等)) 防災リーダーの役割——誰もが主役になる ための防災教育—— | 単独 | 2020年2月1日 | 高槻市総務部危機管 理室 | 令和元年度高槻市防災指導員講習, 高槻 市役所 |
| 防災啓発指導の実践——クロスロードの作 成—— | 単独 | 2020年2月1日 | 高槻市総務部危機管 理室 | 令和元年度高槻市防災指導員講習, 高槻 市役所 |
| 学校園における防災教育 | 単独 | 2020年2月13日 | 岸和田市教育委員会 | 岸和田市防災教育担当者会, 岸和田市教 育センター |
| 防災の枠を再構築するための防災教育 | 単独 | 2020年4月22日 | 大阪府教育センター | 令和2年度小・中・高等・支援学校10年 経験者研修, オンライン |
| 防災学習について——子どもたちが主役に なる取り組みを目指して—— | 単独 | 2020年7月16日 | 泉大津市教育委員会 | 泉大津市防災教員研修会, 泉大津市教育 支援センター |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 創立130周年記念特別研究費 | 代表 | 2019年度～ 2020年度 | 1000千円 (2000千円) | 大阪の災害教訓の抽出とその活用のため の防災教育に関する研究 |
| 教育研究高度化促進費 | 代表 | 2020年度～ 2022年度 | 2110千円 (4322千円) | SDGsの達成に資する統一的な防災対策 の構築 |
| COVID-19 Working Groups for Public Health and Social Sciences Research | 代表 | 2020年度 | 1000USD | The Avoidable Deaths Network and COVID-19 |
| 以下, フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本自然災害学会(企画委員, 学術講演会部会) 日本安全教育学会 日本災害情報学会 地域安全学会 科学技術社会論学会(理事) 地区防災計画学会 Integrated Disaster Risk Management (IDRiM) Society | | | | |
| (社会貢献活動) 大阪府 安全教育推進委員会 委員長 | | | | |

研究業績

泉大津市 防災会議 委員

泉大津市 セーフコミュニティ推進協議会 委員

印南町 防災会議 委員

大阪府立吹田東高等学校学校協議会 委員

大阪府立桜塚高等学校学校協議会 委員

(その他業績として記載を希望する事項)

President, Avoidable Deaths Network

大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター 共同研究員

一般社団法人 共生社会支援協議会 理事

Co-chaired a session entitled What is your 'IDRiM' - what is your experience of or idea for a collaborative project? at IDRiM Virtual Workshop for Interactive Discussions between Senior and Early-Career Scientists (2020年9月24日, オンライン)

Co-chaired a special session entitled Let's Talk About Avoidable Deaths: Views from Multiple Sectors at International Conference on Geographical Science for Resilient Communities, Ecosystems and Livelihoods under Global Environmental Change (2020年12月4日, オンライン)

和歌山県印南町印南地区津波防災ワークショップ講師 (2020年2月27日, 印南町役場, 2020年10月8日, 印南町公民館)

大阪市東淀川区 BCP 学びの場講師 (2020年11月27日, 東淀川区役所&オンライン)

ソーシャル・コミュニケーションリーダー (SCL) 養成講座「まなびのための防災教育のデザイン」(2020年1月18日, 関西大学梅田キャンパス)

いわて高等教育コンソーシアム2020年度後期集中講義「危機管理と復興」の「防災教育」(2020年11月14日, オンライン)

ダスキンヘルスレント Website 記事監修 (台風シーズン到来, 風水害に気をつけて!, 高齢者は警戒レベル3になれば, すぐに避難!, 避難した後の家族との連絡について), ダスキンヘルスレント『pal-up』記事監修 (介護のお役立ち情報「高齢者は『警戒レベル3』になれば, すぐに避難!」)

関大の知にふれる「生活の中の防災」(2020年1月27日, 大阪府立高槻北高等学校)

■ 菅 磨志保

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|---|----------------|-------------------|--------------------------------|---|
| (その他、論考・研究資料等) 災害ケースマネジメントにつなげる被災者 生活実態調査の現状と課題 | 共著 | 20120年12月 | 日本災害復興学会 | 山本千恵・田村太郎・菅磨志保, 日本災 害復興学会2020年度遠隔大会予稿集, pp.17-20, 査読無 |
| 大阪府北部地震における建物被害と被災者 支援状況に関する研究 — 大阪府茨木市を 事例として | 共著 | 20120年12月 | 日本災害復興学会 | 坪井壘太郎・菅磨志保, 日本災害復興学 会2020年度遠隔大会予稿集, pp.61-64, 査読無 |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) 災害時における外部支援の受入れに資する 対応体制の検討 — 大阪府北部地震におけ る府域・市町村域の事例から | 共同 | 2020年3月20日 | 社会学系4学会連合 | 第6回東日本大震災研究交流会(社会学 系4学会連合), 於・早稲田大学 |
| 災害時における多様な主体の連携に基づく 対応体制の経緯と課題 | 単独 | 2020年11月1日 | 日本社会学会 | 第93回日本社会学会大会(一般研究報 告:災害3), 遠隔大会(Zoom) |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 文部科学省科学研究費(挑戦的萌芽研究) | 研究分担者 | 2018年度 ~2020年度 | 230 (2,600/6,240) | 地域の「受援力」概念構成と応用可能性 に関する総合的研究 |
| 厚生労働省科学研究費(指定研究) | 研究分担者 | 2019年度 ~2021年度 | 400 (10,000/30,000) | 災害発生時の分野横断的かつ長期的なマ ネジメント体制構築に資する研究 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本社会学会 地域社会学会 日本都市学会・関東都市学会 日本災害復興学会 日本災害情報学会 地域安全学会 日本NPO学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 震災がつなぐ全国ネットワーク 幹事(平成16年度~現在に至る) 高槻市地域防災会議 委員(平成24年3月~現在に至る) 特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所 理事(平成27年12月~現在に至る) 内閣府「防災ボランティア活動の連携・協働に関する検討会」委員・座長(平成30年4月~現在に至る) 内閣府「防災教育・周知啓発ワーキンググループ 災害ボランティアチーム」委員(令和2年12月~現在に至る) | | | | |

研究業績

■ 菅原慎悦

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著・ 分担執筆 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、 「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、 担当部分の頁、査読有の場合はその旨 |
|--|----------------|-------------|---|---|
| (その他、論考・研究資料等) 比較を含む定量情報とリスクコミュニケーション——より良い意思決定を支援するために | 共著 | 2020年2月 | 日本原子力学会 | 桑垣玲子, 日本原子力学会誌, 62(2), 62-65. |
| 「安全目標」再考——我が国でのあり方を問う | 共著 | 2020年3月 | 日本原子力学会 | 山口彰, 佐治悦郎, 日本原子力学会誌, 62(3), 147-152. |
| 地域関係者を積極的に巻き込む仏・英・カナダ立地地域に公的会議体を設置 | 単著 | 2020年3月 | エネルギーフォーラム | エネルギーフォーラム, 66(783), 24-26. |
| 10年ぶりの《Velib'》利用記:ゼネストのバリにて | 単著 | 2020年4月 | 日仏工業技術会 | L'Echange, 8, 4. |
| JR京都線の小さな冒険者 | 単著 | 2020年8月 | 関西大学社会安全学部 | 関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科の10年, 36. |
| 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称、場所 |
| (学会発表) Distrust for Human Judgment II: How to Break through “Grass-Roots” Technological Hubris | 共同 | 2020年8月21日 | Society for the Social Studies of Science | K. Juraku, EASTS/4S 2020 Joint Annual Meeting, Online. |
| 金品授受問題を踏まえた倫理委員会の見解 | 単独 | 2020年9月18日 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会2020年秋の大会, 倫理委員会企画セッション, オンライン. |
| (招待講演) 原子力のリスク管理とリスク・コミュニケーション | 単独 | 2020年3月3日 | 日本原子力発電株式会社 | 日本原子力発電株式会社, 2019年度公開研修コース, 敦賀総合研修センター |
| 「科学的根拠」と意思決定 | 単独 | 2020年5月15日 | 関西大学社会安全学部・産経新聞 | 関西大学社会安全学部・産経新聞オンラインセミナー第3回, オンライン. |
| 「安全目標」再考 | 単独 | 2020年12月1日 | 東京大学 | 東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻, 先進原子力特別講義第三, オンライン. |
| 「安全目標」再考 | 単独 | 2020年12月9日 | 日本エネルギー経済研究所 | 日本エネルギー経済研究所, 令和2年度原子力の利用状況等に関する調査, オンライン. |
| 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| (競争的資金) 科研費(若手研究) | 代表 | 2019-2021年度 | 1,430 (4,160) | 合理的な「最悪シナリオ」の想定は如何にあるべきか?——原子力災害リスク管理を例に |
| 科研費(基盤C) | 分担 | 2020-2022年度 | 480 (1,320) | リスクと社会の相互作用における「予測」の逆機能の批判的検討 |
| 受託研究(三菱重工株式会社) | 代表 | 2021年度 | 1,348 (1,348) | 小型原子炉の規制及び社会的受容性に係る調査 |
| 以下、フリー記入 | | | | |
| (所属学会) 日本原子力学会 倫理委員会委員, 社会・環境部会運営委員, 若手連絡会運営委員 日本リスク学会 理事 科学社会学会 日仏工業技術会 編集委員 Society for Risk Analysis 日本保健物理学会 | | | | |
| (社会貢献活動) 日本リスク学会, 国連ポリシーブリーフ「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とメンタルヘルス対応の必要性」翻訳への参加, 2020年7月. (報道対応)NHK新潟放送局, 新潟ニュース610「地域の会」特集, 2020年2月12日. (報道対応)河北新報, 女川原発の安全協定, 2020年11月19日朝刊. | | | | |

研究業績書（大学院生）

| 氏名 | 著書、学術論文等の名称 | 分担執筆 単著・共著 | 発行の年月 | 発行所 | 雑誌等の名称、「単著」は最初と最後の頁、「共著」「分担執筆」は編著者・共著者名、担当部分の頁、査読有もしくは査読相当の場合はその旨 |
|--------------------------|---|---------------|-------------|--------------------------------------|---|
| 【論文（査読有り）】 | | | | | |
| <博士3年> | | | | | |
| 静間 健人 | 要配慮者概念の変遷と要配慮者に対するケイパビリティアプローチの提案 | 共著 | 2020年3月 | 社会安全研究センター | 社会安全学研究：第10巻, 3-13. (査読有) (静間健人, 土田昭司, 辛島恵美子, 菅磨志保) |
| | 震災後の住居形態の変遷が被災者の主観的生活評価に及ぼす影響 — 震災から7年目の釜石市調査データをもとに — | 共著 | 2020年9月 | 日本リスク学会 | リスク学研究 (査読有) vol.30 (1), pp.45-60 DOI: 10.11447/jjra.30.1_45 (静間健人・永松伸吾・元吉忠寛) |
| <博士1年> | | | | | |
| 有吉 恭子 | 「避難所運営マニュアル」の構成と項目に関する研究—全国自治体質問紙調査から— | 共著 | 2020年11月 | 地域安全学会 | 地域安全学会論文集 NO.37, pp.209-218, 査読有 |
| 延東 晃 | サプライチェーンにおける調達リスクマネジメントの研究—機械製造企業を事例として— | 単著 | 2020年4月 | 日本リスクマネジメント学会 | 危険と管理 第51号 pp.21-42. (査読有) |
| 大塚 理加 | 千葉県の高齢者入居施設における令和元年台風15号への対応と事業継続との関連 | 共著 | 2020年11月 | 地域安全学会 | 『地域安全学会論文集』37, pp.289-298. (査読有) 共著者：宇田川真之, 笠岡(坪山)宣代, 伊崎田和歌, 永松伸吾 |
| 小村 佳代 | 【原著】視覚障害者が自覚する災害時の避難行動を妨げる要因と受けたい支援 | 共著 | 2020年12月 | 日本災害看護学会 | 日本災害看護学会誌 第22巻2号, 3-14. (査読有) (小村佳代, 神崎初美) |
| | 発表・講演の題目 | 共同・単独 | 年月日 | 学会・団体等の名称 | 大会等の名称, 場所 |
| 【学会発表】 | | | | | |
| <博士3年> | | | | | |
| 久保 稔 | Chinese Panic Behaviors in Earthquakes | 共同 | 2020年12月14日 | The Society for Risk Analysis | The Society for Risk Analysis, Annual Meeting 2020 (Online) (Tsuchida, S., Zhai, G., Urayama, K., Shizuma, T., Kubo, M., Omura, K.) |
| | ボランティア活動における高齢者の居場所—東日本大震災からの復興活動の事例研究— | 単独 | 2020年12月20日 | 日本災害復興学会 | 日本災害復興学会2020年度遠隔大会 |
| 静間 健人 | 新型コロナウイルス感染症流行にともなう新常态への人々の対応 [セッション名: 新型コロナウイルス感染症流行に対する市民の対応: 一般市民, 海外在住日本人] | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33年次大会 (オンライン開催) (静間健人・土田昭司・近藤誠司・元吉忠寛) |
| | 2020年8月における新型コロナウイルス感染症流行への人々の反応 [セッション名: 新型コロナウイルス感染症流行に対する市民の対応: 一般市民, 海外在住日本人] | 共同 | 2020年11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33年次大会 (オンライン開催) (土田昭司・元吉忠寛・近藤誠司・静間健人・浦山郁・小村佳代) |
| | Chinese Panic Behaviors in Earthquakes | 共同 | 2020年12月14日 | The Society for Risk Analysis | The Society for Risk Analysis, Annual Meeting 2020 (Online) (Tsuchida, S., Zhai, G., Urayama, K., Shizuma, T., Kubo, M., Omura, K.) |
| <博士2年> | | | | | |
| Karina Aprilia Sujatmiko | 「一様勾配斜面上に崩落する物体により生成される津波」の計算結果 | 共著 | 2020年9月1日 | 土木学会海岸工学委員会津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会 | Karina A. SUJATMIKO, Iyan Eka Mulia, Chiaki Ueda, 津波解析ハッカソン, オンライン. |
| | RANK OF TRIGGER FOR EVACUATION BASED ON REGIONAL CHARACTERISTIC AND TSUNAMI TYPE IN INDONESIA | 共著 | 2020年10月1日 | 土木学会 | Karina A. SUJATMIKO, Yoshihiro OKUMURA, 第40回土木学会地震工学研究発表会, C-11-1660, オンライン. |

研究業績書（大学院生）

| ＜博士1年＞ 有吉 恭子 | A CASE STUDY: VELOCITY OF LIQUEFACTION-INDUCED LANDSLIDE IN JONO-OGE TRIGGERED BY 7.5 Mw PALU EARTHQUAKE | 共著 | 2020年 10月1日 | 土木学会 | Karina A. SUJATMIKO, Koji ICHII, 第40回土木学会地震工学研究発表会, A-11-1573, オンライン. |
|---|--|-----------------|-------------------------------|--|--|
| | Tsunami evacuation simulation. A case study of the 2018 Palu Tsunami | 共著 | 2020年 12月18日 | 東北大学他 | Karina Aprilia Sujatmiko, 奥村与志弘, 第10回巨大津波災害に関する合同研究集会, オンライン. |
| | 「避難所運営マニュアル」の構成と項目に関する研究—全国自治体質問紙調査から— | 共著 | 2020年11月 | 地域安全学会 | 第47回地域安全学会研究発表会（秋季）2020.10.30-11.01オンライン開催 |
| | 「災害対策本部会議」の実態解明と「危機管理監」の新たな役割の提案—「大阪府北部地震」初動対応の教訓をふまえて— | 共著 | 2020年11月 | 戦略研究学会 | 戦略研究学会第18回大会（2020.11.28）オンライン開催 |
| | 高レベル放射性廃棄物の地層処分についての情報呈示がリスク認知に与える効果の検討 | 共同 | 2020年 9月16日 | 日本原子力学会 | 日本原子力学会2020年秋の大会（Online）（浦山郁・土田昭司） |
| | 2020年8月における新型コロナウイルス感染症流行への人々の反応 | 共同 | 2020年 11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回年次大会（Online）（土田昭司・元吉忠寛・近藤誠司・静間健人・浦山郁・小村佳代） |
| | Chinese Panic Behaviors in Earthquakes. | 共同 | 2020年 12月15日 | The Society for Risk Analysis | SRA Annual Meeting 2020 (Online) (Tsuchida, S., Zhai, G., Urayama, K., Shizuma, T., Kubo, M., Omura, K.) |
| | 低栄養の在宅療養高齢者の心身の状況と災害時対応における課題 | 共著 | 2020年 6月27日 | 日本在宅医療連合学会 | 第2回日本在宅医療連合学会大会（オンライン）（宇田川真之, 笠岡（坪山）宣代, 伊崎田和歌, 永松伸吾） |
| | 千葉県における令和元年台風15号による地域高齢者の被災状況 | 共著 | 2020年 11月21日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会大会（オンライン）（宇田川真之, 笠岡（坪山）宣代, 伊崎田和歌, 永松伸吾） |
| | 大規模河川下流域の水害進展に伴う避難行動・情報取得の変化とその背景—令和元年東日本台風水害調査— | 共著 | 2020年 11月28日 | 日本災害情報学会 | 日本災害情報学会第22回学会大会（オンライン）（若月泰孝, 木村理穂, 伊藤哲司, 田中耕市, 白田裕一郎） |
| 2020年8月における新型コロナウイルス感染症流行への人々の反応 | 共同 | 2020年 11月22日 | 日本リスク学会 | 日本リスク学会第33回年次大会（Online）（土田昭司・元吉忠寛・近藤誠司・静間健人・浦山郁・小村佳代） | |
| Chinese Panic Behaviors in Earthquakes. | 共同 | 2020年 12月15日 | The Society for Risk Analysis | SRA Annual Meeting 2020 (Online) (Tsuchida, S., Zhai, G., Urayama, K., Shizuma, T., Kubo, M., Omura, K.) | |
| ＜修士2年＞ 趙鎮杓 | 高齢者の防災意識に対するメディア効果—京丹波CATVにおける多重的な災害情報発信事例を通して— | 共同 | 2020年 3月7日 | 地区防災計画学会 | 第6回大会（趙鎮杓・近藤誠司）兵庫県立大学神戸防災キャンパス |
| ＜修士1年＞ 野元 颯馬 | インタラクションの表現に着目した防災・減災学習向けVRシステムの開発 | 共同 | 2020年 11月20日 | 電子情報通信学会 | 電子情報通信学会技術研究報告, EMM2020-46, P54-57, オンライン（野元颯馬, 河野和宏）（査読なし） |
| 吉田 修平 | 陸上構造物へ作用する津波波圧 | 単独 | 2020年9月 1日～3日 | 土木学会 | 津波解析ハッカソン, オンライン |
| | 第1回津波解析ハッカソン参加報告—陸上構造物へ作用する津波波圧の三次元計算— | 単独 | 2020年 11月27日 | 東北大学他 | 水域の災害・環境問題に関する研究集会, オンライン |
| 氏名 | 資金制度・研究費名 | 役割 (代表・分担) | 期間 | 2020年度の研究経費 (期間全体の額)(単位:千円) | 研究テーマ |
| 【競争的資金】 | | | | | |
| ＜博士3年＞ 静間 健人 | 公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団 公募助成（研究） | 代表 | 2020年度 | 600 | 地域防災対策における人任せを誘発する要因の検討：社会的規範に着目して |

| | | | | | |
|---------------------------------------|--|----|-------------------|------|--|
| <博士1年> 大塚 理加 | 科研費基盤C | 代表 | 2020年度～ 2022年度 | 1100 | 高齢者の防災対策を促進する要因に関する研究—コホート調査による地域レベルでの検討 |
| 【以下、フリー記入】 | | | | | |
| 【所属学会】 | | | | | |
| <博士3年> 久保 稔 | 日本原子力学会 日本災害復興学会 日本リスク研究学会 リスクセンス研究会 | | | | |
| 静間 健人 | 日本社会心理学会 日本応用心理学会 日本災害情報学会 日本リスク学会 地区防災計画学会 | | | | |
| <博士2年> Karina Aprilia Sujatmiko | Ikatan Sarjana Oseanologi Indonesia (インドネシア海洋学会) 自然災害学会 | | | | |
| <博士1年> 有吉 恭子 | 地域安全学会 災害情報学会 | | | | |
| 浦山 郁 | 日本社会心理学会 日本原子力学会 日本リスク研究学会 | | | | |
| 延東 晃 大塚 理加 | 日本リスクマネジメント学会 地域安全学会 日本リスク研究学会 日本社会福祉学会 日本ケアマネジメント学会 日本健康心理学会 日本認知症ケア学会 日本老年社会学会 日本公衆衛生学会 日本在宅栄養管理学会 日本老年医学会 日本在宅医療連合学会 | | | | |
| 小村 佳代 | 日本社会心理学会 日本看護協会 日本看護学教育学会 日本看護科学学会 日本災害看護学会 日本慢性看護学会 日本リウマチ看護学会 | | | | |
| <修士2年> 趙鎮杓 | 日本災害情報学会 地区防災計画学会 | | | | |
| 【社会貢献活動】 | | | | | |
| <博士1年> 有吉 恭子 | 関西国際大学 2020年度春学期「セーフティマネジメント論」講義 テーマ：男女共同参画と防災（2020年5月22日） | | | | |

研究業績書（大学院生）

| 【その他業績として記載を希望する事項】 | |
|-------------------------------|--|
| <p><博士3年> 静間 健人</p> | <p>淀川区医師会看護専門学校 看護専門課程（心理学〔非常勤講師〕） 東洋医療専門学校 柔道整復師学科（心理学〔非常勤講師〕） 四天王寺大学および四天王寺大学短期大学部（心理学Ⅰ，心理学Ⅱ〔非常勤講師〕） 甲南女子大学 人間科学部心理学科（心理調査法実習，心理学統計法Ⅱ〔非常勤講師〕）</p> |
| <p><博士1年> 浦山 郁</p> | <p>混在交通下の事業用自動車運転者を取り巻く環境シナリオ等に関する研究会 研究補助 特に優れた業績による返還免除（全額返還免除）日本学生支援機構 2020年3月 大阪保健福祉専門学校 社会福祉科（心理学の基礎，心理学理論と心理的支援〔非常勤講師〕） 甲南女子大学 人間科学部心理学科（心理調査法実習〔非常勤講師〕）</p> |
| <p>小村 佳代</p> | <p>【学会ホームページ；災害看護メッセージ 一備え一】小村 佳代（2020），相手に関心を寄せ，知ることからはじまる「災害時の備え」，日本災害看護学会HP [http://www.jsdn.gr.jp/emerg/]</p> |

